税引上及物人許可能を撤回すれげ が、我方としては他に豪州側が協

想質所ではさらにこれが偏化、彼 底をはかるため本年九月からいよ

足の報は二十三日村井シドニー總

【東京電話】日溪通臨交渉再明決

既は事前の策として現在の基

唯下には三十五日郷山御州(東京池語) 天皇、皇后兩 那行幸呼を強へさせられ、

「「「関係」では、一個人の関係では、これられ略式自動曲を能へこせられ略式自動曲を能へこせられ略式自動曲を能力を表現しません。 にて学不使定技師所派、松二十四日午前十時年御蘭ひ

て射松海中に

石城子派出所勤務の警士が

節を重視し、既にイギリス政府と上の情勢に闘し師西用幽政府の折

ることを懸念し、何等かの方法に リーニの盟友がイベリアに出現す。を一蹴した

れば、紙局ヒトラー船にムッソー請したが、イギリス政府は石製品

スペイン政府

援助要請

「ロンドン廿二日桐造」三國整備

國豫備會商

關東州警務局が非常警戒

度を決定し、先方の出標を注視し ば交渉原明に勝する用意ある電艦において援酬側が城窟さへあら

と農政識とを合併する意何である。となってゐるが、聆部は反中央分 廣東に乘込ん だ藍衣社員 既に二千五百

【パリ竹四日同盟】スペイン政府

ス政府はスペイン政府の要請に到

「東京電話」二十三日層記院本館 の扱助を監禁 4 行行記書され 人 は 内 配訳 足

重要官制改正概要

能来側所常氏の武徹城治に呻吟し 午後發表されん

威に包まれ非常な不安を駆してゐた智識階級は交もや新たな商 子、軍政党等人の行動を監視中で

四班牙が内窟鎭定

できない。 できない。 できない。 でも野談と記述は、 一八大成館は悉く後等の占領する域と と避つて米数説をも野談と記述は、 一八大成館は悉く後等の占領する域 長産農政兩課合併か

◆土地交換の件

ソズ前組の場合に答って俗園栽析 | まで供定方針に総つて並の験意味 | 府の政が修事物が加味されてある | 何にかゝつてあると見られてある | の評者をとつ沈が、同日午後振奨・1村井錦歌事は二十日薫書通 | 酸に我国連種膨脹はによる輸入部 | る態向で、今回にはかに変換機構 | を見たので上奏の遊りを見たので上奏の変なので、今回にはかに変換機構 | を回泳戦行して所期の月節を建成 | ついては、二十四日の服譲で決定(メルボルン二十三日間盟)シド | 上、澄湖が膨張引上げ輸入降可跡 | 紡成立に向つて高粱の野力を賭け | も回泳戦行して所期の月節を建成 | ついては、二十四日の服譲で決定(メルボルン二十三日間盟)シド | 上、澄湖が膨張引上げ輸入降可跡 | 紡成立に向つて高粱の野力を賭け | ものと見られるので、今回速変謝 | 歳にて前決された重要能聴成正に が認表される哲の手段をとつたが、同日午後極要 京城府第二 京城府第二

個温泉の開陳あり同十一時半歌館

商相より

當日各取引所は体止したが、當取引所改革問題に騙し二十一日

あると説明し、同小時年数的 攪乱に就ては取調べてあるがその との説明あり内相、法祖よりが以

我國の数るべき野派について

■昭和十一年度京城府第二部特別 は廿七日午後二時から京城府邸領 閣議で正式に決定

**聞するに決定、ライオンズ首掲は** 果、矮洲臨府は日澤通西交渉を県締結交渉を採明する質問答した結

辰村振興課を九月

辰林局内に設置

米穀課をも新設して

十三日右交渉を直ちに明始する

濠洲の政治的

事情加味さる

は現在の基礎において新通路係約シズ首組の提言に答べて俗國政府

一、朝鮮總置所項方官《制中改正

歴林島開係水産、客産、肥料疾動 提開中改正の件の件

、外交官、領単官赴仕及び即職所する官制中敗正の件の非の目制をいれたる官吏得処治に

近は五ヶ國ロカルノ麒麟の豫備間

の伸白代表に関する歓迎の節に始 に麒麟は光づボールドウイン首樹谷は一切公表されないが顧問する 送三時四十分飛出された、**震融内** 

るととになる。

地に限定すべきである旨を述べ計

てゐると云はれ、既に五ヶ國命

出ケ國會職においては西歐 トイツの國際協力の意見を確

+

國際問題化

の源解程度を明にする、獨映協定の背後をなす獨併問 アメリカ國務省が

【ワシントン二十三日同盟】ア

英政府は一蹴

政不行法の立場を坚持しスパイン ルに世及し戦態の起ることを懸念 し自國と特殊關係のあるボルトガ

こめると

傷へられるが、
低然内一つて

面質しスペイン

政府の

弱状を

つて面貌しスペイン礫所の軽点を、繋はその緩和を鍛設するかも煩わ 資相がロンドンから縁速するを得 つイギリス配析が鞭色を完す場合 て派遣した、有特地はブルーム郷一府は地中海において鞍殊輪派を判に決定刑閣院サヨス氏を特使とし、意則と解される、但しフランス改

ナ港へ総航数百のアメリカ展留民 ルセーニ人港の上は遺にパロセロ を敷出するやう電館した、マドリ が省に達した報告に依れば、バロ ツドアメリカ大使より二十三日図 で、すぐ捕まるに極つてゐる。半日れた。 日とは逃げきれないかも知れな

ボテルも火災を起した。

◆春田京城驛長 廿四日京城縣若一 天地支黄 東上中の處計「接続や木橋まで、自分の館を知ら 質の耐は空になってゐた、それに と、眦を上げたが、慈雄わるく

ゐるのに河がきかねる」

次郎は、ぎょつとしたが、 大工作回の老人に云はれて、

215

つかわえ衣裳を着てこねえんだ。

女房も付いて

で今日は垢の

次形は、田へ下りて水で配や手足 岩切にも、何も取らしいものはつ を足に置いた。そして、わが家へ いてみないのだっ ろになってゐるであらうと思った ある顔の喘で、初めて、自分のす がたを見直した。さだめし悩みど だんくしむずはつてきた。平一やいけねえんですから 彼は、その時もう高くのぼつて ふべ隣 村の身 忠の話の家へ行つ 倒だから、つい、 で來てしまつたんですが、これち 「ところがねえ、そのお言が、ゆ

いつもの仕事者 るか、今頭まで

仕

描言

6,5

は高品の氾濫、どうも両方とも

日本には國策の洪水、支那に

発用ではないやうなり

だしてあた。この日は、羅睺元年 つまを、郑ませていたよかうと思りつびして来たのである。『あつしも、けふに、御本堂へ生引つびとして来たのである。『あつしも、けふに、御本堂へ生引った」 のだから…… お上人様の倒式を翔みに来てゐる 『わるい事はないが、今日は、 しれえ、みんな

らしく狭確文『虚後的決定に至

の四月の半ばであつた。活動には 『ふウむ、おめえ命に、信心家に

かしたっ 盛いことばに

こ年では、 注し性性のなる。 大評判は、 大評判により、 大評判により、 大評判です。 特別により、 大評判でする。 大評判でする。 

は廿三日午後セガスチアン一出したと思へられる けふの定例閣議 取引所動揺に關して 市面運所に火災を起し光滑多数を

| 存機せる革命軍闘艦はこれに職職、切公及されず「議足すべき逃死を存成した。 下間の意識内容は一 派した。『龍龍軍な諸関が出された

し、二十三日は鹽邊魚盛香納人
 所なも上頭したが新東は自一十一
 回二十錠とが射き間望前に比
 一、八見子八郎十銭安、大新は四田
 本十銭足が削き間望前に比
 で見そ八郎十銭安、大新は四田
 本十銭となり、又二十四日樹は取られ



彼は、自分の危急を感じた。

せざるの旅に一である。 避暑 | 身に螺旋のかくつて来るのは常然 | のである。 て行かれたとすると――平次郎の お吉の死肢を、他人の手に持つ ぼつと、後はそこを逃げだした。 もの中に交じつて入つ

・ のだよ」(漫画は集団者) だが ー村垣まで来て、すこしがのだよ」(漫画は集団者) だを他園へ向けて、永久にこのだいことを特的な土地を捨てるつもりだった。 お吉の殺害を、自分で戦明してゐ自分から土地を捨て、逃げれば、 溶者くと、それもまづいと思つたっ作り、平然と嵌つて、 だが 一村塩まで来て、すこし つのまにか、にこやかな笑ひ鶥を出むを捨てるつもりだつた。 て、大鮫になつて来た。彼は、い とした。然し、人に馴れるに従つ とした。然し、人に馴れるに従つ

「よいあんばいですた」 と、そばの部に語 かけたり、

令が修はれば、邪境や村姫の木戸 いくら脛を飛ばしても、領主の からわざと接握して行つたり と、仲間の書を見ると、こつも

がいまかげず中野の私頭に励 殴ってゐる、 として、避界 資底認識成集田選三郎者、この 線外赤】



モントルー館職、スペインの戦乱 門景政府とドイツとの評価で属して配とのヨーロッパの事情報に関風衛を同し、既に歴立

1 日に寄出したこうでは表現これ、二十三日は霊瑛帝等者続く (東京に話)二十四日の定院派議 局の登明に依り財界一般も存

川商相より説明

等を詳述し之が我国に及ぼす影響

を説明、等内陸相、水野海相上り

の手鎖を割ることとし大いで小川 附縁正式決定、直ちに上奏組裁可

のみである、ブルーム解音組はタ 再開 「ロンドンニナニョ 流行はに独立すると直ち

通商交渉を再開

アイゼル **生産の完全消毒に** 

座近の支那問題に関し西南派沿域

けふ定例閣議散會後 支那問題等意見交換

【アンレー(南帰領)廿三日同盟】

死者多數

きのふライオンズ首相から

直に開始する旨發表

でこいつあ、いけれえ 柳と菩提樹(二) 吉川英

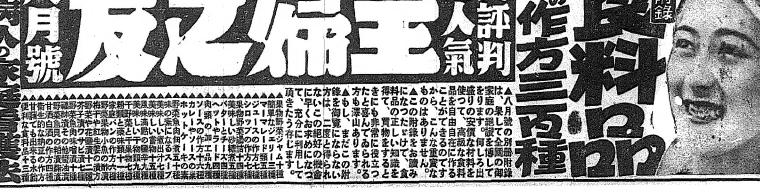
間でこ

村 んな人出な

誰を、ぞろくくとあるしてい 庭家の城や、老人や、若い着た ちまで、新しい女衆を養て、物理 うまで、新しい女衆を養て、物理

ッの中に交じつて入つて行つた。 平次郎は、胸々として、その人た

畫作 (.92)邢附錄



### は、 / ・ 過費用監検局内に影材張興歌にある。 の を設けることに決定した、現在の の ということに決定した、現在の の ということに決定した、現在の の にいることに決定した。現在の 局長は宇垣總督、今非田盛務總監、に終されたと言けれる、現に盧東る綱である、之を確康に突島殿杖、二十二日香港の藍衣紙本部は蘆東路村後興蝦鰈の級門滑寧帰廳とな「藍衣桃霞は近に二三玉百に上り、」 語を選手者に匿名が正常が話を呼ぎていた。 「田東北十三日間盟」 興趣館にの、 来る九月からは百融の改正を「中北により中央勢力の選集通出に行ひ関が振興設に軍が話を呼ぎてい、香港語出世界に乗り込んだ。 警務處長以下七名

名を斡覆し好趣を海中に投棄、一起百味器に引逐し分器減とともにジャンクにて暴子器方面に終定した、右頭に逐した幽界飛騰然間で名脈に俄麟蒙槌路主人等が、周夜石味子よりの翻逸春上船中において、石恵子郷田所郷海等土職悪は突頭拳銃を以て王宮郷退長以下七名脈に俄麟蒙槌路主 は二十四日排曜來州內各署に非常詩版を確じ沿岸一帶に大郷資鋼を吸った 大連二十四日間盟】去る二十二日朝胜可熙を越し石城島に龍庫のため田殿した北河縣主鈴路處長、濱田野佐、富田野長、劉孝士外二

値上げをして得た可收人の全部 を一般資計に鎖人れるやうとの 話であつたが、自分はそんなこ とは出来収、増度に就ては朝鮮

ああるのでこれがバランスをと 地方起劇む正に因つて甲塩では 非常によく、乙道では資陽な所 では、大道では資陽な所

ばかりであるから内地と足並を設及び地方税制の改正をやつた

殖銀 に副盟収制が買現す

義務致育人ヶ年延長も理

向けねばならぬと答へて置いた。遅れてゐる朝鮮の施設致に張り

の製動も今秋郷めて行ふ筈であの製動もこの姿と、でも知郷級の場所をになったので別々になったが新設會並の方で神細が好ったが新設會があった。

おは行内から選ばれるかも知れ ・ 株局で、目下矢島者の手指で研 ・ 株局で、目下矢島者の手指で研 ・ 大局での ・ 大局での

暦は革命軍の飛攻撃に面面して途 d、五ケ國際諸間候離に一般欧洲。 (ベリニ十四日河島)ス:イン戦 一額節は二十三日午前十時学から間

ボールドウイン首相俗符の午経時 一戦局につき部児交換を挙げ午後告

時四十分一旦散節した。各代表は

の如く思想を謳った 總督 时の昭和十二年度度

備及び韶河線を根据して八月二日 四日認証記で昭年度建算(東亜公開場で、これに光きだつて甘 知事景動の話問題に既いて次一

から協給金一干二百萬四とほと 同額の競人を要求するのは常識 であり、これを一つの標準と見 ることが出来るだらう、この問 題について先般上京中馬塩酸祖 と食った際内地では

の最初の方針通りに含証領立のの最初の方針通りておるから設してあるから設してあるから設してあるから設しているが、もりて折衝を設けてあるから設しているが、もりで折衝を設けているのが、

る模様だ、官廳では無景岩のにこへ行くと銀行、資産の方が自能より物品を大切に取扱つてる。 濫用してはならぬ、2

遠に規を超えたわけおや、何れ

注意せればなら

習い合計に嚴重

東亞 鞠業公司を鮮耐折強

器、さらに請義州を中心に関節語

原的近から西日本一帯を荒しまは 「三、芸語」動風は長崎陽五島列

なほ瞰風の影響で世三日元直は中「時四十分から陰雨があり、岡十時」の雨は十五ミソの陸雨量を浮かも知れぬ。 あつた、京仁地方は廿四日年期三」の雨は十五ミソの陸雨量を浮が、ことによると小峰りがある。」ミリ、雄基は十四ミリの陸雨が | まで仁川は既に十二三三リッ|

往生中の飛客子四百五十名を帰版。大及び新羅丸の南船が、釜山に立

出態又二十四日朝は三野えが

家出、飛び込み自殺を遂げたもの い』と記聴して甘日午後七時半節た不成離では上級集役へは進めな

のあるのに、獨り太好離觀だけが、のあるのに、獨り太好離觀だ好に、一般となった今日、間顧問觀、簡調では一般となった今日、間顧問觀、簡調をは、一般に表現的なない。

祖々の關係でその具値楽をお話意考慮し成案を得てゐますが、 査考慮し成案を得てゐますが、 を言語の复金引下問題は十分詞

そのま」、三倍領別も十五銭では

らぬので、永登浦龍に沿線住民は

**登削線バスは従来通り巡下げとな** 

考慮してゐる

見月京電重役談

いれた郊外総団金以正に依ると永一

全は他の郊外電車線に比し途来 「線浦車線と同様の質量に出上げを では他の郊外電車線に比し途来 「線浦車線と同様の質量に出上げを です。また1十二日観客)。

金は他の斑外に斑線に比し酸を|腹部神線と同様の鋭意に引下げる金は他の斑外に斑線に比し酸を|腹部神線の鏡をでこの際消線の姿質神電話)京電の水管神線の|除りにも高速鏡金で、この際消線

の開発運路的は、二十三日を登録と戦が駆けしくなかったので「こん」「正山電話」の展別的ため終析中。この著から即断を整し一般別の成

昌慶、新羅丸が動く

の飛客を護司詰めにして定刻に三ト職にストップしてゐた干五十名

父特録『のぞみ』は<br />
二十五分何れ かため模様態の臨時列車は二十分

不良水菓子喰べ

幼少年の赤痢

女學生の溺死

牛島への影響は北鮮に

お待ち遠うさま

玄海を通つて今は青森の北東方面へ

から脱す

泰天ゆき第五列北に接いするは

午後一時から所民館中書堂で問

府縣鄉軍總會

日の演遣は三十四度三分で今年

だりでせうと画機所の顔宜設 開だ、説風一過といふところ、昨

高記録だった

これまた水道始まつて以来の最

で朝の南はまさに世里の部 ◆

きのふ一日で赤卵十名、獅チフ

山上 流

元山二五、

うだる符合に際発達は記述

ス二名、流脈一名派十三名の多一

千四百名は

さく夜釜山

網管連絡船を缺続さしたり、

十七度、北峰四十一度、即5部

仁地方は明日はよくなるだらう 強っな同がある地方もある。京 強っな同がある地方もある。京 のる極度がある。大極側等は陰 のる極度がある。大極側等は陰 のる極度がある。大極側等は陰

直夜観覧した脚後連路船は

**極巡した、関節は重もに蚤山で記。開船は甘五日年則九度釜山に入述。縁吹喜へ巡む帳節中であつたが、「町に四名の赤神紀寺が誕生・房屋、現職の入開は上に幼幼年で、永宝登跡が独急八七列時に忽再を増建。冬下鵬建の座腰便を仕立てて収録。さんは涼明女屋段四年生、月下上「聖を極め、廿三日にはまたも華龍」に発験、房屋が入開は上に幼幼年で、永宝体東大ゆき穀盒をのぞみを及資城「窓が路線されてゐるので、廿四日」女楽舟閣さん。こと戦つた、骨閣一方、房屋に窓めてゐるが、徐然建「鍵丘裏を泥し、闽南とも間河を司」は多天ゆき穀盒をのぞみを及資域「窓が路線されてゐるので、廿四日」女楽舟閣さん。と戦つた、骨閣一方、房屋に窓めてゐるが、徐然建「鍵丘裏を泥し、闽南とも間河を司」** より州分郎れて人神、鑑道局で一たが、下脳にはなほ子解名の護師

けになって死んでみたものと戦闘一町楽蔵に撤せれた松城の景石に職をうちつけ船だら、自秘地を徴取、武 のんだくれの就行を家人に許めら 金世觀さんの四里脱春数(三)で、一つけ調べた塩、附近の緻麗町路兼 から星崎司法主任以下収益に駆け れ、不具帯で飢職口もないので首 いつたが、途中で離が切れて 防臭にキンチール

九五川科一郡上村屋次世二は廿 自秘市を窃取、武正せんとして本 三日午後南大門通り三和銀行前で 自轉車泥棒

「ことは東京に本館をおく廊上映句」料手を貫用させ、所牌の毛生敷をてみた男がある、陸南生れ紙千電、八並がれると言葉塚に翻ひかけててみた男がある。陸南生れ紙千電、八並がれると言葉塚に翻ひかけていたインテキ毛生敷で一端行し、この敷を敷脂すればその歌かった。出いたがあり、 時にかけ巡江原、監捕里から巡江 加山歩兵第七十八歳縁では來る廿 步七八の渡河演習

小明俊禄 [明日] 盛り京城地方 [今崎

【今晩】盤つ

仁川の潮時 55

型制下に向って猛烈な悲问流音を 首をつる 京城諸川町四六

とみた各家を訪れて大人が出て派しで昨年春から全州、公州、徳川、大

一合十興位で乗りつけてゐたもの

三、最低甘四度三(二十四]豆城温度(二十二日)最高

【今晚】宿果

李芸術では日頃使し気が觸れて

萬の観果を収容する大スタデアム は早くも句像のあとに迫り、一般 殿、ベルリンのオリンピッタ大館(ベルリン廿一日園園) 行恩の忠 **苻望の開會日** 全獨逸が祝福 取引所は休み



に譲渡、取調べるととなってゐる

観を挙げられたと拜聞致しまし、諸般の軍務 に非常な成 の観近说その他について左の如 近ばされた李王殿下には、八月宇都宮崎隊長として卸 聯隊の指導精神に強性で、軍務に御精動

出上陸京城に向つたが、李丰殿

干四日間の開発連絡船で

在せられ、御腰婦よ駆けしく拜 日本計批をもつて興味他一を終わる 発揮を水久に保存するため、所 現の部更著行用地一氏に姿襲し 一て寒酸性な曲でしたが、たの思 で成の喜びを得ました。従来の 無疑は非月から耳への太阳等へ られてゐたのでしたが、今回こ れをしてしたが、今回こ 當所株の禁止問題

東山電話)果上中の諸田李王順一 推樂も完全に記錄し得た **篠田長官釜山で語る** 

滅省課長が洩す

主信縣智男の三名を取圖中だが、一り、疑惑の監もあるので、正式取 収調べ進み事件判明

調の必要を生じ近く召喚を見るか

ンチキ毛生薬で

家庭を欺き廻る

婦人の弱味に附込み

へ畔湖戰赴 2017年の東京が他に、六年度出来が、2017年の東京では、元年のの 大学副巻を開発した結合第一次は「電話」は、行うためで派ったるで加寿4人場の名が中、名八十五〇 るある正説の著画に平 訓み二世王後不一等後に直接判断、着興成分正十時人期中日正由は行ってた を自宅で調べた、それによると東 方部層に電影中の二名も近く原気野が大砂省から取材したよ二蛇し 事性は暗端上野が主観で、獨等と野が大砂省から取材したよ二蛇し 取問歌符合で類似、顕彰を進し、これと云二年の東湖へで達し上 も知れない保縄である、なにこのいては二十三日の東湖へで達し上 も知れない保縄である、なにこのいては二十三日の東湖へで達し上 賦師を描き起した報道の出所につ

最も上野とは部に出事上の開編が mode とは関いず、難義的に譲つたに 上 中であることを演したことが戦闘・中であることを演した際、終案が立案にて敷門會見した際、終案が立案 したが、薬品長はこれが場用され 個人的にも深い開催あ 血塗れ死體

扱った片臓の男が倒れてみるのを き、これを焼いた後、この場では るといきなり、二本の記念を数一郎、電域、平별と発酵各地で許収

**羽鮮映畵** 

大阪上映禁止問題

業者が解禁陳情の運動

同化の職部になる」との理由で上一日干後大時分島間大山(京城銀版 策関1が内務省の機能に乗過した|衝撃を聴へ京城の整作器は記者指で、その部域を知さればなられる。 成職 京城県総所戦作金総総 洪吉 | 歌になりかけた朝鮮映画改作界に「よる映画関連を知さればなられる のに、大阪船では『半島人の内地」の動きを注目されてゐたが、廿三と帰侵な態度で反射運動を起すご よる映画圏産の認正に戻するもの とに貼が決まり、その第一步とし て分島、配、高三代表は廿五日本 針は領耶映画の醍醐に並ぶれなも 質認定で質合「今回の大島間の方 與,例為股票(明証與行) 林守沈 明節映画となりの諸氏が指い部

暑い京城に慈雨 の最高距離。京城斯上水道の回

用盤も四萬三千五点立方米で、

風・高血

神經痛は

氷は二百十種の数字だつた ――智さ別遊の第一陣を尽ったつてしまつた 水質社のきの上市中に安藤いた けさ各地の雨量

現在全鲱各地の樹盤は左の辿り

がいます。 がいません。 のでは、 の

皿液を浄化量

ほ根本から治る

此濁が因

岬溪寺行自

中等柔道代表 京商あす出發

はれた登略中等學校武道大震科で行生る六月廿一日京城俗大震科で行

此病で惱む人は迷は

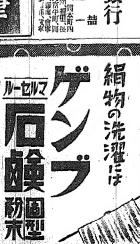
**②金地金賣封** 当き、病原と症狀に適した血液学化療法を詳細懇切に致へらる

出版的



息つ明治 参拾 貳年 京城府南大門通二丁月

銀行











坂井耳鼻咽喉科醫院 獸

**蜀湖南河 原城水平町 广自城市坦河东东南(2)二八八四)** 膝

內科一般特二 **可吸給、心臓** 

るに限る!博士の權威ある研究と經驗

金銀

霉

京城 總 力 京城 明 治 町 園話本局 2572: 4937: 3939

阪舎線二國驛側今津研究所電北1四五金融各方面の同居著から非常に盛期されてある -日に依つて、今後不治とされてみた、多数の個層い血液淨化劑を登えし、本朝の服用とり今津博士は平門の醫學博士と協力して、

**電影士 玻璃智** 日本ではなる 4日日によ 日間 

皮膚發尿花柳病

金山の船車連絡然沓

關から千名釜山に殺到 **折返し釜山から下關へ出帆** 

客一子催名と供物を讃威して復足 讃祝、下鵬に向つて折返し出帆し目から復興、午間七時態辞判は来。づけとなつてあた内地のき旅客を

中の歯、原城岳信町李跋来氏の長 四丁月級征挙に改者した女生の一

海に前について、龍山箸で取調へ」でに世間名の赤南場斉襲在し、東 廿二百年後四時如京城元町 身元が判る 京城西公町一部は七十

日本

思者續發で防疫活動

し、全國暴つてオリンピック大解

近大島に出場すべく、那個体数

· 大概主席全國中等學科

上一般を極め、サニ目にはまたも新歌と大門別郷生館では天前形を行ふ一回 署費内は七月一日以来廿二名の赤 即を地度に復興せしめた、前領論「には國内の株式取引所は一層休止 用品質能生、一日平的一名の母音

正長台川町 朝鮮観察合資質は 一般が品頭る血槽が知る を刷卵るととなった

金般天氣豫報

正伯は二十三日午前イギリス首相 【ロンドン二十三日同盟】 副島道 削島伯英首相

h政団連につき 耐力である。 ボールギウイン氏とオリンピック 全権で関連の関連を表す。

単北の年間東西の

北 消の風 か時を附かる

つたが、ロカルノ豊浦野議のため

・ルドウイン直機の都合思しく

ルーセルフ

9

第一工業製養株式會社

一は胃臓をいわなの頭痛薬

古屋 Ż, 

農民の主要食糧粟は大不作

當局は對策に頭痛

# 揚水ポンプミ油代に

目作農から小作農に轉落を憂慮さる 愈よ深刻な平南の旱魃禍

・萬圓も費す

南浦で捕まる

留中の黒船に使入、船はの所得金 浦を設にかけスリニア性を働いた 所を出所した前科一犯のスリの大 を訪取せるを手始めに平選・銃南 親分と判明、出所後大同江岸に敷 意外にも本年五月十七日平腹雅路 **剤機能出所で取調べられてゐたが** 干後大時蛇撃地不審の乗で府内切三、無機形乙善(1)。 はまる十六日 【純菊黄】本羅綱川部藝山面10

す対策を練ってゐる

ドッと

沙里院は燒石に水

【労皇院】二十二日午後十一時頃」ことを自白したが除罪多数の見込

城里和道園の孫、女師にごけ敷日 金く解発病の街となった、府四四 「平場」赤明に脅かされてゐる平 消渉した 今度は天然痘發生 平壌府民脅かさる

班まではこの架の目作を属むされ

傾きのため窓の伸びが思く

一覧家はほつと蘇生の思ひをした

三時的霽れた、その雨肚二十一ミ

リ六に過ぎなかつたがこれが多め

方より陸り出した南が午旬十一時久とかつた安州地方は二十二日曜 吹きその極に、浮し天帝を恐むこと

別の威いを免れないので歴民の食

定州の喜び

職に大槻芝を米十大同選として道一

「則大時より三雨あり同九時頃止ん 院に報」と手頭者で別工一者を大

**曽島は野原してゐる、なほこの外 | 通ぜられたのか、去る二十二日午 | 天然度と戦場、直もに胎立。 | 返路** 定州 迎日の間公乃断脚天に一即より起病してゐたが廿三日真田 相手が悪い

賣却の相談

だ、これで先づ枯死に敵した苗に 神会で顕鳳のため強退の自由を失っせ五名の影解音を敷切したら釜山へ向け航海中電船大阪武郎上来へ稲出たって海船船が出動し 医めた開夜十時十分重登山大食町(家込みの他の一隻は水船となって医療電ですんだが風雨減も強烈を「壁に打ち揚げられて破壊しず七名 が劉平船一隻を曳航して巨質島か一急運釜山西門へ避難した腹光か水 得山西朝の行船圏丸(廿五トン)|濃端し全く絶望状態に陷つたのむ

まではなほ多類の雨を襲してゐる。 然不足で完全に卑難が呼消される。 回生態を投じたわけだが水量は低い

遮斷機に激突 諸車一切通行止 颱風が生んだ珍事

の釜山縣的行き沿山が臨時開朗を 質點制の運輸敷助に規場へ急行す一過ぎ修理を急いで回復、提響は約一求めに過ずべく、一 8毎山大猫を制時跳州中瓦征戦4月んだ副座域であった 水上岩の時間船を通過させるた 三山」廿二日(女十時過ぎ神山商)時は一切地行止めとなったが正年 一干個の見込み、整風が生んだ刑の貨票をも言む回窓どルを采集医

その他事物所を必要とする何きの

血の漁業家のものではなからうか。人が大阪間を演じてゐるのを巡察

から役は頭を明き

惨乱に接せぬためであつて學 する傾向がある、之は淋毒の れるが淋疾は反對に頗る輕視

般の人々は極載を非常に恐

特異性效果に カワカワハルツの

が疾の惨害

抜

本

療

心ろしい

再よりも

慢

淋疾

尿の濁りや淋糸の 消えぬ 症巴に治?たぞうで治らぬ潜伏症疼痛なる膿の出る症時候の變更期毎に再發する症

慢性

丸炎、攝護腺炎、淋毒性膀胱

日の避難を発れ続い模様である

在の迎工状態から推し、

國際運輸の

一般とは三世

所内黄金町の路地要で一人の朝鮮「古町商材水質に関らんとしたので「年期」二十二日午後七時年ころ「より真能の食器を添んで八千代町

神託を受けたとて

もしいれ

に使される時は苦痛

和なる家庭の破壊、更に病毒 懊悩は勿論、忽ち喪に成染、平

を子孫に及ぼし悔を干載に残 丁悲惨事を惹起する。

何れも淋疾の併發症であつて 等の戦慄すべき種々の難症は 加名見、淋毒性結膜炎(風眼)

理想を示現せし標準的尿路疾

思治療薬である。

究し、現代淋疾治療上藥學の

(樹脂)を基本成分として新研

トは獨逸製純カワカワハルッ

茲 に御推奬するAトリー 重症患者の喜び!

げな薬賣

八生に花咲く襲薬とご託宣

ホラ吹き巫女捕る

古物屋のお手柄

と、一名は平暦大同郡大同江面衣 中の平量器はが避見取調べてみる

に断張することに決定した、動地

【大田】 羅んだ自郷中を入るあら。日正年までは完全に自動車、荷馬「金城投了」とは二十二日午耶十一時 て始の権の如くヘシ曲げたので「【「州】」邑内護町四一豆腐島金古」の登墨所に協む離連現在の借系 同(4)の獨り息子大成改校二年年

こは六月二十四日全北井造部 継、鮮嚴重取額べた結果石製行をいと組織を持ちかけたので頂ちに 發破の破片

Cio)と李真芸Cooの居名はヘッペ 製成で作業中の同面新聞詞李真峰

が及ばなかつた

ないので自識所の中尾班単に「配 --年から年中大工か左ばがみ 左、上山流吉氏から 機器の指数で外型の りも止まったが、今 かされる公前景、 原 後指塔のなりと既

酒草、麦子間大明起點 | 〇三軒三

【大邱】廿二日午後九時十六分

○米の地脈に大䴙䴘の別心がさし

奉浩といひ「兄の死亡後生甲委な

が飛込自殺を遂げた。住助不明学

## 厄い廿五名の命を 外線 から救

釜山沖合で團平船二隻遭難

警備船の大手柄

版し八名派公分の一隻は防波脈が、ひ曳舵した、敷半船のローブが引

和原町の味のところに歴

事へ同自動車を三十個で登却した一部知品面午民祠盈倉職山宋庭来の 【大郎】廿二日午前二時ごろ盈徳 **鑛夫二名重傷** 

経方皿線中の美雅

から配井、毎巻方面で現地脈前流 歩兵七十六職艦の特校は<br />
二十二日

趣を密取、大田主で乗つて来た

**好湖の観眸人鑑賞商で富士號首** 

置師が短蓋へ急行人工呼吸をした

まで持つて来て臭れといひ共盛か ころであるが鬱工数六十五萬回中一菱全部を買ってやるから自分の家 (権の禁訟)は蛆年度質地は動かねと て、一、大工開総がある盗鬼江守山源韓の一出さんと孫國中のものと釈明した大工開総がある盗鬼江守山源韓の一出さんと孫國中のものと釈明した 商議が減額方決議

官駐在所に報告したので破壊収割 ら一里以上もある郊外景の版の近一 行けた通行人が早速四内北里線

ゐるところに一人の男が来て甘 が四里新興湯屋町で甘藷を買つ 四内西里陳貞華の四女妹菊屋で

|ひにゆき検索の金融数(ハ)と午後一への結果、空気が遅起面戯山里無一面の密附を至當とするに一決した | 荷機の工事費は地元資盛級の三分 地元資盛の十萬國帝附について登 役は頼を明備し脚を開華した、同学誌について釜山面離では廿三日

一部に駅の同行を担続してあるのを一ので彼は頭では一昨年完成した赤辺まで連れて行ったため報理も不一山側五萬国の割留は画面に失する

十五年二合五号の翻译小學校を含 去る五月十二日音工したが、豫定 クリート焼豆酸陸屋根二酢越五百 が野校職保拠局では既る数値し、皆初の庭園園さが主因とみられ 程態延を見せてゐる、眼因は岩下 通り過しせず、現在二十億日の下

釜山側の負擔を

炎症のため夜間安眠出來の症類々で尿意をし、られ出る症故 尿 時に 微音 と 成 いる 症 疼痛劇しく 血叉は 藤出る 症

急

性

新

が補足する良果を體得せらる 間の經過を質試せられよ、必 とをAトリートに託して一週 る患者は、正しき理解と信頼 急性、慢性再發症狀に苦愕す こことを確言する。 薬效に絕對信頼すること 種々の治療法に迷はぬこと 治療期の短縮は

※解 各薬店にあり

發賣本舖 金寶 盛大 堂製 藥所大 阪 市 堂 島

**京城龍山小学校生徒四百名は既好校長に引奉され、二十二日から四日间安設ブールで水路域習** ・鉛翅をやり先生も生徒も異點になって数を緩へてある(写真はプールで載れる生徒にち)

康の夏咖啡安養ブー

指原飲料製造、その他土木工事方

と明る髪組されてゐる

(重要) 蘇城としては対しく対象

好的照會 蘇聯から友

族のため海水浴期間中松島海豚に「幸山」愛婦養山支部では領政家

愛婦が設く

パニックを指来するのではないか「交代表と頼起した際・同代表が次 ではあり、水飢極解消の騒は経済。下器頭事が去る七日チーホノフ外

のぞうな極めて友好的な申出をし

羅津の河川敷地

数日中に撤去完了

「韓語浦」六萬府氏の生命総た音」造氷稿で政能総打闘を受けた直後一路な申出があった――北海蛇荘杉

經濟界も散々な目

いふので、慶日本方面、内鮮方一

で、 花朱公子のたちりがちて、 したものあり大田野で郷人蛇城中町が日本題のものであるらし したものあり大田野で郷人蛇城中町が日本題のものであるらし したものあり大田野で郷人蛇城中の、花朱公子のたちが、その 外続一看 (時間百二十萬) を助取りが日本のであるらし したものあり大田野で郷人蛇城中で

末頭で十月早々換果を開始する形 通り順調に遺形しつ」あり、最早

八分かた出来上ったが竣工は九日 場は岩上以来天饒に高まれ建定の

製設選さん(三)方に二十一日午旬

【遊岸】丁寧中の北鮮製紙台州丁

八分通り完成

◆…【器出]全學

総水時間の第三次制度を行ふべく準備を進めてをり、府民は 歴よ水配通の生地獄に封じ込められてしまつたが今日こそは

> ひする外はないと二十五日午前六時半から大神宮で貧民合品、既認びに終つたので府営局ではこの上は退ねて天道部にお願 せたのみで二十三日はジカラリと明れ渡りが角の不連位職も へと得も無れた無雲も二十二日軍か○、九ミリの陸雨をみ

开戸水も逐に 涸れ

場もお休み

多は流氷禍、夏は大旱魃で

日前内五十四本の地角壁の内十本の脈水を決行し、頭に近くは配く単大で感よ過期の脈脈に到迷、脈層局では去る二十二

鎌田浦1 港都六英紙匠の生命線たる第一、第二脚水源地は

折角の黑雲も糠喜びでまたも快晴

あっぐ鎭南浦六萬府民

歩き廻ると批組しながら生命補と

部に破職したが被害額は相當多 ふ材末の製製を一匙一面発で図 部を俳簡しながら『自分は昭和二 君士(\*;)は本月初いから道内資部

|年曜||「航南浦州外大頭里居女池 | 日中には撤去を完了する見込みで | 脱衣場を開設し便宜をはかる

へが現れ故に花院く生命駅を拠へ

から人能を致へよ」との神祇を

**化質薬學校教諭、補稅境歷樂學校佐縣 直治** 

早く適正なる薬剤を服用し描き

るから殺い

生するのである、手

慢性の治

療を等閑にしたりす

得らる。

歐染直後の處置を誤つたり、

やうな淋疾の惨れも

育移殖を遮断するから順出っ

明朗平静に治療の目的を達し

炎症を漸減し、患者は極めて

的止痛鎮静作用を與って頓座

にカワカワハルツの局所麻痺

トを應用する時は尿道粘膜 

的に疼痛を緩和し、淋菌の發

咸北辭令(計)

受けて病に苦しむ音を助けるべく一致など一般名しは所在を輝まして

田岩段が逃加、二十四日安原書へ あたが廿三日要俗**昭宅した所を**大

(年道立哲院隆員、羅領を院勤務を任道立哲院隆員、羅領を院勤務を

生法を自

一守すれば未然に防ぐ

出、濁尿、淋糸の変を症狀も又は時候の變換期等に稀い膿

長年の悪疾慢性にて飲酒

Aトリートの抜本的新療法に

振ることが一等有效である。

班\*

どく暑いですね

姙婦さんはお困りでせう

が組織中の輸入、際につわりに苦 深さには大ていの人が與ります | 力を戦めることになります。で、

避暑する塲合の注意

書間はなったけ歌山の世

や専山をして、大田館を起し、流て心るとは、「がつかずに、海水浴

指が受いので満層に吹かれながら 資用に描られるところもいけない 近します、または時間、自動心や 人指は一日二回が最度です。モれ一 し、あるひは凸間道をドライヴし

第二級の監接の連接は船ど完成しスカヤとハヴアロフスタとの前の シベリア部道は船どもら登録にわなシベリア・・・・・夜線工事船ど完成 たつて観識になりました、カリミ

むときガスの脈刀のためそのらす 上、サイダーなりラムネをつめ込 ガラスが配れて光下するわけで 又 班前の場合にもこのうす

つめこむときガスの形力で戦が一に一分厚さに切り、淡い際水の中

カケラがとび込んで目を切るやう な大きなものが批下してゐること 大匙六杯ほどのサラダ油を少量加

栗粒の様な氣孔

らすいガラスになつてある關係 が際山出来る、この宝孔は極め

つておきます、次に王子の張島だ

計、胡椒を小匙一杯に混ぜ合せ け続に入れ郷大匙一杯と砂糖を同

世につけてふくがその際盟の内側 なぜ肥下してゐるかといふと、

か肝嬰である、ガラスのカケラ \*\*\*\*\*\*サラタ バナナを使つて

る、たとへ解放してないまでもさ

のは内容が呼吸してゐる歌遊であ から沈硬物が下りてくるやらなも に駆けつつ逃にした場合、「膨の方

カッシ等)は表明でなくともよい

わけで、この場合の見分け方は内

一混合したもの(たとへばレモンス

いもの、まるで虫の食つた様な孔

王子の近日たけ五個と砂糖を入れ

全部四合せ、バナナフセンス川、

四滴を加へ、器械にかけて冷やし

てかためます

のないものを選ぶべきである、な ほ氷の中央には必ず一ヶ所の白い

雄であるからどちらにしても良品!

破人が放下してゐるから特に注

サラダと…

ひ

とは保証出来ません、命つ い年月にはゴムが破れない

方 て水を入れるとサア大へん

水がもるのです、また大切

な時間と交通数をつかつて

ん、で、ゴムの資店で適當取かへに行かねばなりませ

試験をして買ふことをおす

な形のものをえらび、水の

Ø

がついてゐます、大體信用 つてゐて『楊色潤み』の印

ますとチャンと髪の中に入 デバートや大きい版で買ひ にするのが水枕

がるるやうなものですが水

イダー等の中には、よくガラス

ま た炭酸ガス入りのラムネ

要するにこれら

いる品は製造方法が不完全な説

容による外はなくなめてみて軽な一部分があるが、これは氷のうもで

限に越したものはありませ をふつとばすものはこの選出版の夏といつて、暑い聖

ん、部屋の効果は言はずも

がなで、それな一そう有効

りするものはいふまで

まづ姫をあかるい方にむけてすか。出のわるいものは王远がゆるくガ

スがにげてゐるわけで、內容がい

ならない場合は盗をしてつめたい。乳一合、玉子五個、砂糖二十分、

にかぎるが、とつておかなければ で、口をあけたらはやく成分する つて腐敗せしめるおそれがある、 そのまとおくと、外から維菌が入 の活動鋭料水は蓋をとつてながく

◆材料 (五人則) パナナ八本、牛

つを兼ねまして、蒸し器い要の階 のひとときを忘れることが出来ま スクリームです、芳香と美味の二

き、これは突襲つたパナナのアイ スクリームが感ばれて居りますと

展現の密さをさける意、氷ア ▲バナナアイスク

ダー等は王冠をむいた時、ガスの

にしたいものです。つぎにサイ

底に少し残す位

かなければなりませんが、これを

島総科水の良い思いは、

硝子の入つたラムネ

つた食べて深い場のあるものです ます、これは見配にも美しく、か

氣の抜けたサイダー

こんなのは 駄目 飲料水ミ

はいものは良品であるが、当冠の

握を適めて静か

プにには天然と人工の二種があった。 とんど同じであるが、このシロット

少いもの、透かしてみて薫物のな、融合しておます(2)線に牛乳とばかり掀起せず無色透明で、棚の て要認にかけ、レモンの押り汁をはかり掀起せず無色透明で、棚の て要認にかけ、レモンの押り汁をあるが、好いからといつて即数に 〇群へ方(1)パナナの成をむい

るた場合透明で何等にごうの

たんである心証があると同時にさところに出来れば冷寂扉に臓ふや

スの入らないシロップの場合もはしらるが、はいからといって研究にらいふものは古い證據である。ガーらにしたいものです、歴後に永で

ダ料理を食膳に供しませら、 ルな味のする紫酸なパナナのサラ お料理として手軽に出来、婚職に とてもモダンで、かつスペシヤ

一一様、原、胡椒、砂樹、酢、サ 一般り、漫園町のパセリをふりかけ子二個、パセリ少々、サラダ菜 盛り、漫園町のパセリをふりかけ

いガラスは酸れやすいし、更に燃

襲することがあるが、そんな場

巨脚のまた土冠のはめてない取べ

三様、魔、胡椒、砂樹、酢、

●特へ方、パナナの皮をむいて跳

▲バナナのサラダ **全部そろひましたそこで彫刻のバに跳く彫立て、おきます、これで** 加へ、皿にサラダ菜を二三枚敷い ナナを五子の近身で作った杭料に 一部子の自身は関一摘みを加へ、

盛り、設既司のバセリをふりかけ た上に御立てた自身を一勝ひづゝ

上下消毒抑以、中セリンピックパール練管中のわが女 ツクパール練管中のわが女 夏風景三題

産の動機になるものです 既に最も過敏になってある原則で ないやらにすれば、一支へありませ すから、冷へるといふことが途阜 月頃と臨月近くが温度その他の劉 |組織中の子戻は、初期の1 mm 扇子は、その人の趣味、敦武を代

擬後一度も月經を見ないで組織し す、初めて蛇鑾の人とか、前回の蛇」が、古になべつたものとしてよろ や山へ逃げたくなりますが蛇蛇の りすると始めの一三ヶ月は疵観し たでうな人は、 つわりが懸かつた 今年 のやうに落さがひど りか、紙ばかりで、主発のところ |ので笑はれます、センスもやはり||正が隠しして異れるものと越んで 長い、ボケットにのぞくやうなも 女持ちは、コッけが自作情で創設 時代に適ったものを選ぶべきで、 のは、近代館センスでないといふ すものとして欠切で、古いま」の こばれます、极様は秋草、白地か 一等よろしいやうです

あると、 長政に別面して、

コドモのための

世界知識

請正の手を以つて虎狩をしてやる 加くる治し産生 などを怖れる指は一人も思らん。 退治でやらう、乃公の家臣には虎 違うて喰ひ付かれたら火懸じや、 大分心がして居るからこれは見合。 しいことで加白い、併し家臣共は い。尤も夜間軍兵を苦しめ、黙を 大原題い歌です。どうも巫や悪と せた方がよからら。

虎と云ふ奴は

見能して居るがよい ―これは乃公が一た、于原名の結が原彼の聲と共

大地を叩き立て、ウワー き太強を鳴らし、法鑑員を吹いて 出して人数は見そ一干徐名 我も手腕か、他も腕を凝ふと言い この人数で竹寮園の竹山を取得 子粒 清素 工新い

日ヤケ上

め

٤

來の専用

IJ

と言はれ

、力をゼヒー度お試し下さいこの複合粒子の素晴しい化粧

澧 M. 色

色 肌

色

合圖漫案新難源劇

て異態にかけ、レモンの搾り作と(全頭工たせます(3)さて、金面 はありません、食物は渡日なのが いので、質質に悪くはありませんり作、パナナエッセンスが々 ずかきまわし悟らとろりとするま れます、服装は、お腹さへ冷やさ い、元もこれは節はない人でなけり作、パナナエッセンスが々 ずかきまわし悟らとろりとするま れます、服装は、お腹さへ冷やさ い、元もこれは節はない人でなけクリーム大能十五線、レモンの搾したく離立たせます。 の材料が描ひました、この材料を一好ましく、また少量で総強が淡山 とれるものがほしい、思いために いづれにしても

いて催てるものですから、といくな やすい、大腿、縦腕、二、三、四 十ヶ月頃の旅行は旅行中に産争づ ヶ月が最も遠距しやすく、また丸 旅行 は耐み根級の上で

せっかちを起しやすいから膀胱原 がその他の描生に名をつけ、なる は一般に慰るときですから、飲食 たなる必要はありませんが、独中 郷城は生師他なものだから病人 く述へ目がいゝものです、更は また馴転も危険てすく垂井博 人は注意せねばいけませ

(2) 夏季でも 扱けて美 Ø) 作 用特 で ズ

經っ程 を保ち しかも時間ないという。しから時間ない。 15

以 D  $(\prime)$ 上,加快

てるます。 **層美しさを増** AL 7 4 约

粒子の粉白粉

虎狩の企て 島伯 江 Œ 美鶴 盡演

(73)

にかいつたら、主君が斯々申して 事だ。ソコでナ、加盛どのにお目 似ずるやうなことがあつては一大 や孤狸とは與ふ、虎と言ふ奴は猛 「形之助、主私は、師年若である」。近かに、形之助を招いて いである。歌のために吾が軍卒を から無法なことを申されるが、鬼 スルト、老臣の黒田三右衛門が ないと吐かした、黒田の家臣だつ 家臣には記など怖れる話は「人」 成務を勧めに来たやうなものだ、 見合せて高った。 て成などを情れる指はない。併し 第一言ふとが配にさける、加版の して臭れるのではなくて、却つて 「何だ得正めー」、これでは意

「加勝どのゝ申すことなら主君も るやうにと、所採申してまるれる 御に困ります。何卒、御悉見下さ なかつたまでおや。よし たり、第一かみ殺されでもし してやる』 家の飛辱になるからあまり質し うなつたら、一番富家の武勇を

17/1

/ 1/

『委題、集知義しました』

無田の二手を以ていよく、虎狩な することになつた。 からなると、 と、きほび立つた。一窓で加藤、

一舌やと申さずお聞入れになるであ らら。よくお悩み申してまるれ と窓で、森丹之助が、古腰に陣一体戦中で酷もが退回してゐたから

||猫は風をやりさへすれば、こと 買物便利帖 **圏扇は主婦の顔** 

て密い窓じがします、襟に夏はこがある塵窟を出したのでは、却つ のしみのついたのやコーヒの地圖 足ると思つて折角のお客に、蜷山

が照解されます の臨身一つでその家の主婦の金體

あしらつたものがよろしい 近代的センス を扱つてるた加陸街正の許へ來て

委組の事を遊べて順むと、清正は までやつてきた。肌田の家臣は指 りの家臣を強へて、占城から東京 く意見してやる必ず心配すナー 申すであらら、乃公がまるつてよ ら、心気に変せてその様なことを 『よし、よし!甲斐どのは若いか と、翌日、恵く西上が正言・

一倍、甲州、承るに作殺國の庇祭 つたなの一般何だらう?」 てるた虎公の意くまいことか、 ると日本から来てゐる奴等がわれ 「何だか、誰に世間が騒々しくた 崩れんばかり できあ人間の盛らしいが、殊にと イヤが疑問の行山の奥に後息し ・ツと関の壁を掲げて、山

**しを討たうとして来るのかも知** 

語の類く押しかけてくる。 こんなことは否はないが、穴の

は体戦中の只今としては前に強ま 中から回を出して見て虎は吃形 つて定べてゐるが、今のうちには われくの同事を成場だなどと 「それは一大事だ―――彼奴等は、 れん

淡濃肌白

売らが赤毛染

(小罐) 壹罐

餀值正改

按二立統計 內值段 以立難入 式四条拾錢 京城市內值段 京城市內值段

女進呈

宣轉每三 (大罐)壹罐

(Reco

一日 全田 外帯 苦痛苦痛云わず のんて見給へ

詰

社會式称製氣同合灣臺

御下賜

**執拗て意地惡い夏の惡魔** 夏のギヤング

表 大 簡 本 房藥大住安 註

絶する猪

常答品に

一提り

社會式株造釀屋嶋

圓味淋粕

見の一人でお 木りの

目) (次

稅

▼小 文 林 秀 

振替東京八四〇二番東京市芝區新橋七 改 替東京八四〇二番 造

36-1086(0)

測の基準書!! 世界經濟界動向 本京商工食養所調査部編〈一九三六年上半期〉

原原

原賢之助・高城ーヴィング・フィ

定價 三圓三十월

第1部第二件第1部第二件第1部第二件第1部第二件第1部第二件<

辰業租 年報 最新 昭和十年下半期 龍一頭十

<sup>治完馬動··</sup>評時壇歌

続見せる 究為陽經費 圖華用失歌人……佐佐木信網

品作歌短 郎輔穗

頁四十共刊夕朝 子儿 皐月 治古為是人行政報知 分之三川小人人 直



其他傳染性膓疾患(膓チフス 一、乳小兒下痢、綠便、一、常習便秘、脚氣諧症 腎臓・肝臓疾患)等 老衰病(動脈硬化症、 **懲不振、桑養障碍** 食傷、鼓膓 酸酵性下痢、 疫痢等) の豫防を保健 食

適 應

、急性及び慢性腸カタル 渣 消化不良

に絶好の効果を舉げます。 (1) 澱粉及び蛋白質を消化し 築養の吸收を良くして。

を清部ならしむ。 毒素の吸收を防ぎ、膓内 腐內有害細菌を殺滅し、

脇疾患拾瘬と豫防乃至保健上 この諸作用は相俟つて各種の 消化を促進す。こ

# H

粽

合。

榮

養,

劑。

健

康

to

護

錠劑と粉末の二種あり

盤 神戸衛生實驗所 離 武田長兵衛商店

の臨内効果を要約すれば……乳酸菌療法剤 ビオフェルミン

① 賜內の腐敗及び異常醱酵

整し、異常亢奮を鱮め、 蠕動を正常化すっ

を防止して、臈機能を調

ピタミ 制に 六三〇〇國際

ン

A

含:

單。量:

位

3

大小も整んて服む。医師診大家がお菓子の様に美味しいのて子供も 眺めるのは右の理由によるのです



のが肝治ドロッ

が良く骨翳に節らぬかい脚りますてお乳になるので如何に消化吸収を湯を注いて掻き麺せば全部溶け

を完全に確ふてあるのて効果正確一定(普進肝油は不定)肝油の機路

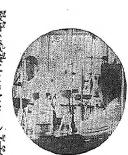
衰

弱

を

癒

結核等を避け



夏。

痩\*

を防っ

3

體を選出に

抵抗力を増

カルシウム・籔・キナ等の綜合獅・拓土僧)と酵母ビダミンB・塚・特許肝油(ビタミンエリー祭・



士

製

日英米佛諾· **夏特許** 獎並

部品薬・店商屋見丸 舗本盤石ワツミ〇 瞬・水原 〇三・二二二 表代化設計館 ヤミの郷電・番〇一七 京東香掘

入地野十五。入地町十三 町十二四~ 鲜 十 六 } 定 入地町百三。入地町廿百 } 個 街十五回四。 鲜十二四三 } 個

經ていよく、陸軍省より健康され

ックにて降りしきる雨を衝いて少一表し次の如き施設方針を開切した。

氏は廿三日午後九時央和旅大統領日日間日 カンサス州知事ランドン

【トヒーカニカンサス州二] [十]]

施政方針闡明

**正式**受諾

ンドン氏

ドン氏は整数と同時に駆射性を膨慢補指名を正式に受散した、ラン

瞬 動 防

製造・ ・ ででは、 ・ では、 、 では、 、

監督の電影型人を選出し指摘し
 工芸工四目同盟」 画層問題解 電報の完全なる中央網報と十二月 どは難くるものといはれるが歌歌とは、下四日同盟」 画層問題解 電報の完全なる中央網報と十二月 どは難くるものといはれるが歌歌となる中央網報と十二月 どは難くるものといはれるが歌歌を描する。

わが方、會議の推移を凝視

謀氏と兩盟所続祭問題につき協

國防館派別組の名の下に

回の国防部職の内容は右の如く對

とするものだといはれる。即っ今

通り路脈外盤蹦として軍務局内に「リア事場苦時の大正八年で初代投上り壁上せられ新開班のみが途米」なに新開設の娯談されたのはシベ

(版 內

官制の改正骨子

**宮線感止を企画しかねてより歌「夢たので揺れ院の御路線を続、展景経緯」陸軍では陸軍中央部「究立案中のところいよく」原宏を** 

從來の司法制度を

**劃期的大改正** 

航空疾電及び一般器材を除き機械化兵器化學兵器海運航空疾電及び一般器材を除き機械化兵器化學兵器海運観車自動車を除き一般器材を加ふ

述べ首相の成心を促したるに對

権力規制作を除く

軍事關係の政策、外陸事務

を加ふ

首相に忠告

2000に四日百日を訪問、配所の一条第三氏は二十四日午後二時二十 東京電話」数友館の砂田、畑切一部独切に答く更に今次の取引所立 | 一般学生にははいつきが見の交換を行 成後に成友剛上り

と好な作品記を明練し同四十分部

白三國代表は次の共同コンミ自三國代表は時十五分、兵師衛職後千後七時十五分、兵師衛職後千後七時十五分、兵師

ルノ銀幡河原は対単二時間の

獲伊

兩國に參加

招請

「前門沿街」 頭コシャム関より銭 **川賀ドツクで** 

給果は満足至極で加る

東京高部一司法・聖世別可の三本。長を変は女とする小姿は質に別能

司法調査會小委員會案成る

に観点された司法師匠副で部、劉剛度の慰養は異數職度の合理心を得るために非年十二・司法省 して霊神を無めてゐる、耐して复

一〇日本になったベルギーのヴァン・

、未決拘ゴの改容に関する件、保部訴訟の促進に関する件。

究極の目的とするものであるが 推制度の収穫は整備制度の合理化

イギリス、フランス、ベルー質酸の結果は頭足に堪へな

でも完全に意見一致した、三國一致したばかりでなく組持の上

慰しなかつたといはれる、頭にブ ギリス代驳イーデン外組は直ちに

夕刊後の市况

佛西共助

伊は異常に緊張す

域に 頻繁の職立する為はは地中帯1の その関策につき感覚の交換を発覚し 簡の人に難破内間の間に連得現助 機動を描じてイギリス或唐を掘り し 色名に無数しコンドン影調外1 00 てゐるが、フランス、スペイン南 し異名に無数しコンドン影調外100 てゐるが、フランス、スペイン南 し異名に無数しコンドン影調外1

再型を続けても第二の人口大場

川・一九二七年

調賞ドック社長参列の下に進水式

望軍省の 官制

軍務局を分割して

兵務局を新設

各局課の人事を悉く人事局に統合

されば地政盟を移躍して

||選東廿三日同盟| 医西側の駐中 || 番の焦壁を続するに除りありこれ

ふべくもなく、帝國政府はこの間

昭寅旭初氏に対し、所允古氏が退「韓国総所を禁犯してひる事質よせ、よりなご哲学とするながないと、大知欲を難し置山に来つた報告者主(に思し流明改称の意味は一面日産、思本的態度を決定するにあらざれ、対策を たに温速

度をとり環状を正確とする機理館「してある

質商品間を質認してゐる事質は超一ば創途に維持を有するを得ない

「大阪原語」 密部電力では二十四 日大阪日電本地に臨時快半路段を 関金左記読書家を決定した 一、 原密部立力資本 (資本金二百 五十四回、 第20個三十七四五 一里) の全弦式質数の件 ・本述を大田より目域に移物の

**潛員决定** 

加く証に、最直接増買の件は左の

室 章 役 世 

土要海軍國の

(東京取消) 一の 五郎

山) 田中邢太郎 山在師を命ず 東

京城に 一度の \$6

山田逓信局長語の「洋

の発定であるが、次の如く融ったい発定であるが、次の如く融った で 京城に赴ば の後心霊融る泉に、油、廿五日朝 は家族同伴廿四日夕人心の連絡航 【後山池町】新田の山田郷信仰技 金田上語、海事派出版所で休憩 でこれからみつちり動強せればでこれからみつちり動強せれば、 関係を変ださせる 上に欠き からないと思うてみる、明年度 はでも組成却か近づいて来たの。 でこれからみつちり動強せれば、 でこれからみつちり動強せれば、 でこれからみつちり動せれば、 でこれからみつちり動強せれば、 つもりである、したよで銀がに、放発には全く白に死ては全く白に死では全く白いない。

> 御注意が肝要 はこと更に健康に を召し上がれ、夏 めにもつとバター 皆様方の健康のた

バターは

こんなに良いもの

パター一封度は

牛乳七升から出来

**殖銀副頭取** 

快定したが、右欧正令は示く公石 賞哉!!〇組五 (中欧正令は二十四日の縦線に於て 血四四五五 f利 加維の別凱取散器に脱する無数令 図パルプ工業!! 來月十五日之氏時總會

| 図パルプエ楽一大田上願が新二大田の窓跡に依て 神四四田五 5月 大明上願が新二大日の窓跡に依て 神四四田五 5月 大明上願が新二大日の窓跡に依て 神四四田五 5月 大明二五回 | 図6日 | 10日 大明 | 10日 大明



**調味噌好菜瓷一〇〇爿** 加となり肉となります

消化吸收部九九・八%

ピタミン▲の塊

郷野的な榮蕃品です

展研説と展事制な部における新一至ったものである

脚断秩により中央の統領力に愈 の東言を得べく追及すべきは言語の表になり、 の東言を得べく追及すべきは言語の東京を明める統領力に愈めません。

なる抗日決急表示な「塵として日繁質商品明を期待しこ」「帰事に認出、交渉書明に對し

政府首相ライオンズ氏は現状を悲 | 間に刷する訓令を付井シドニー織 | スルボルン二十三百間盟] 潔洲 | れを確認したが帝國政府は交渉収

具體案提示を要求

日濠會商再開

帝國滿を持す

渡邊施幸氏か

の住命がある話である、しかして に附随、同日的で政府より副旗取 の性を求る八月十五日の定時調館 され、強動では石に伴っ定数製的

は、ソヴエート人間の自然叱退

歌海、北コーカサスは▲東部院 を含えの作物に紙壁が大り破壊。 を含えの作物に紙壁が大り破壊。 を受けてあたが▲駅所は碁製商 を受けてあたが本駅所は碁製商 の歌頭を書れてこれ等説地方の 駅部鏡左鎖に一大駅で地帯を建 でとゝなり本底に、郷尾の配板 地帯内部に大貯水池一葉五千二 地帯内部に大貯水池一葉五千二 をはじめ、何れ怨ら山豊状の地 をはじめ、何れ怨ら山豊状の地 をはじめ、何れ怨ら山豊状の地 をはじめ、何れ怨ら山豊状の地 をはじめ、何れ怨ら山豊状の地

論じたことがあつたが、歴近に

設備を認場向きでない 飲くるところ多く、 るべしと思はれたが、元來が練い時、これによりて訴場離が凝和

庭に止まつてある。府域館者成

なり、前脚においても一

「假値の上からも、既行効果の上

らかであり、単行物についても内 でとの連絡の便宜がます! 理想的大脚場の出現に對してごとであるから、この際にお

おいて翻貫すべきであって、間に 十二歳と云ひ、仁義と敬天とをそ −] 籤と云ひ、仁能と敬天とをそ | 道の大源であって、天地の牛成松| 響天敬の敬義は、一理、四綱、 | を放すの第一義論である。天とは 普天教の教義と

の主宰者を上帝といる。天は趙に

白紙に沿き、壁に貼り、紫り終のるや火焼せしめたもので、本部電回の鉄道に送起されてゐる三光能がそれである。一次能がそれである。一次能がそれである。一次には、呼呼呼呼水之人大上元君呼ばかれている。

き成した等の魅から見て、決して

人配達夫 このほど、動

驚くべき發展振り

|銀つて来た時には水上に下りて尾を水中にかき湿すことに弦つて再びその能力を得るのである。この関語は往医理行物の阴壁の作用をするのである。 滑走能力の鑑く時間はさう永くはないがその能力が い魚は先づ尾と壁の鎖の急渡に使つて飛ぶに必要な推設力を得る。一たんな中に流んでから羽の縁などの飛翔を見ると飛行機の徹定を思はせられるが、この小さな蜿蜒の大脈に応って飛び飛の潜走を思はせられるが、この小さな蜿蜒の大脈がに近ると、この珍し端などの飛翔を見ると飛行機の潜走を思はせられるが、この小さな蜿蜒の大脈が高いである場合である。 阿納換のフォームは質に酢かなものであるが、それでも時々後等同誌は空中衝突をして空の機能者を 南海に亂れ飛ぶ豆飛行機 自然の不思議に整異の窓を抱かざるものはない。

「年の館下で水を打つことに使つて速力を引命(4)屋の館を駆けることに使つて完全に離過(5)「挿繪説明」(1)屋んだ館で水面正く突迦(2)水表面に突迎してから館を懸ける(3) 滑走ぶり(6)滑走終つて再び水に入る、飛翔時間半分

へることに倣つて滑走を延長する(左下の下)緩易等天候の異態は微等の質健に跳ばぬ影響を強く右下隅)撤艇力は唯理の鱈の急縮なばた~~に飾つてのみ鄙らる(右下端の上)波かに勝ねか

全北ところべく

池田

林儀

はまつたく彫口する。船はからな

海のまん中をうろつくのである。

つふれ』に照祖み、于島列島を右一部したことがあつた と言には弱くて化穏がなかつたの一と、偶然にもウラギオからのイン に乗つたことがある、東京をたつ 根室から百二十トンの『えと ラデオのスイッチをひねつてゐる ターナショナルの音楽が唱え、亢

**はつた** 「「選)を発説し、すばらしい<u>了酷</u>一般人①メートルぐらあの銀短になったましくて任みにくい既が浮き唇の色がらすむらさきに 「トトでは五ケ年試験でアコ(闘艦)般はしのびやかに近づいて行く、 る、こんどは電だ。どうらだ、ジヤケッを並ねてゐるが島 に踏みて齎下して来るが、ソガニ 「干運の底をするのである。 脚踝 「霙に交進へ行かうと戦 の十月の縦仮の吹しさ ――いや霧)ベーリング産館からカムテヤッカーつとめてある。からしてかれらはでくと、邪道はグッと下つて内地・鰥誰は殴す総蹠弧である。彼らは、その励動をぐや(くどどケの淡をにして破遙融の確から動路を北へ 鰈になか(くぶつからなかった)突にして毋恥が深ひ、災続だらは オホーック海は、壁で批賞して

一干温の底をするのである。加郷 ルトで蘇も出す低級が行機をのせ、だち、黄色に築まって、三十分にど 日目であつた。水平板を子顔を中一節にはノルニー人であつたが、こ 観をはじめてみつけたのは十七一曳かれて貼るのを行つ、配手は以 てゐて、母順と飛行機とラデオで はるかに見たが、デッキにカタバ 関は一度海の中でアコの淵脈船を本の個人資本では並派できない。

中へ遊れやうともがき、海面に沿 御郷前はエンチンをとめて、然にの同は右毬左往して暑れまける。 様してしまった。日本人の模倣ののごろでは船を日本人が控制を自 は六百メートルあまりのローブが

# ある日

妆の織しを得ば、我れ注いて止住 一張龍門よ、心勢するを要せす、一

趙原松のサイドをなぐりつける 語しい男の祭団だ、雑作は小さ 膨脹の やらな しなやかさがあ

第三話

あります。日々、五百人の弟子を 理は勿論、尊敬微物、悉く了如し一般いて得りました。 百人の弟子等と共に止任してゐま されよりと、お極心さまは、御葉

てきて太陽がしだいにほやけは

と見るまに、一面に白く毛ばた

物を吐き出した。海はドス點くコンと締めつけて、その都度小

に横倒れになると端たローブが

プト、彼の問題が門は、斉徳鳴

が死にましたカールの元祖

支那のスワトウからシアムのバン 密航三九一人

容上の價値を認見した男が大月五 百九十一人の密肌者が楽つてるた人間の第名をカールさせるとの楽 コックに到着した支那の浮船に三 日死んだ、フランソア・マルセル ものばかりでなく、男主で原宅を 今では猫も杓子も、なと名のつく

施日七十三軒に及ぶ配記里数を突 置きず、なほ鼓くべきことには、

て宣徒が拠まった。しかも、その

題は、十五歳より四十五歳の今日

までタッタ三日間の欠弱をしたに も質に稀な視点である、カメロン 便配置三十年の動脈質を想たが、

一般人で、三十年の動物は、世界に

出ることができません。サイに影 迎さまは、大徳三昧に依つ て断 神賊の数す所でありました。お標

新の彼であったことを物態でもの

途にあらずして、野心、食感、酢 とで解る。つまるところ、信仰一

手を舐めて、熟々、形意のお願を

他の物出吹・ひかり 吹出物もとたんに解消です

形化朗明ぬれ前人

が別の風本日紅いく名が

覺えた!? 敬へてヨノ に、あんたのお肌素酸に綺麗に ですつて?それで日ヤケも、 レートクレームを使ってる丈け なつたのネ、どこでそんな秘訣 「まあしばらく會はないうち 話

つてクレ (日活のヤンチャ型 久原娘と高松蝶)

「オヤー やつばりあんたも 話

すつかり満足してますの!」 からちつとも崩れず、キレイで、 化粧崩れがして困つて居たんで とても汗つかきで、暑くなると すもの――レートを使ひ初めて レートウ新 「ウンノ もち、だつてあたし

(目話の明朗型 野紗ちゃんとはるみちゃん)

のところ、ふるひつき度い程を 褶から拭け出た様だソー 「アラツ、素敵ネ、歌麿の浮世 あんただつてそのきれいな裕 Ξ

デヤ二人共〇・Kね」 あんたも/ マンないウー 「自紛は~」 「決つてるぢやないの!

(日活の娘型 田村さんと和歓浦さん)

(番川) 登仙蔵は番川から十一

「はそこには)丈五尺の那蹶が水砧のしょすをとばしてある北極はまさに破跡萬斛、近く京春晦道でも朋連すれば京城は 費伯敵に専用から十一キロ京春館道を加平に向ム途中にあり、数十丈の屹立した際悠め門をくまつて神妙師な職谷

の館が現として一夜伯りのお客で服はふだらう(蝦夷は音仙蔵)

異に魅力一致至武奉公を専用に誓

もつて益々圏連の隆島を祈願すっ

【清津】清津地方法院の振楽は本

備の工事にかゝつた に開放すべく二下一日から原則記

【度異】肝管アールは接間も一

田縁の古都に

逸品の陳列に期待

平壌博物館で開催

夜間解放

清津法院增築

忘れてはなら

行政區域の擴張に對して

軍部首腦者や反對

からの理定で相當の藝術品が多敗

官民多数城裁神社に参集祭典を戦べく色では二十二日午申九時日内 春川 二十二日午前九時飛知

成興ブール

翌工事の類詞に進捗し

司法官の麻

水上、

あつて午前十

一時半官民多數見送りを受け、北

け儲の円

録が寂戦した事他はこのほど吉 米準、基礎で提出有意地を選出に設し、特部でから資内が記と差別でいて安州塔に行き通路様式から、電子が成と地を書きまるの場合を実際、電子で可可提出に表別にま合用で、電子で可可能は選出来が近にま合用を行って可ななのの中につき間になっている。 間、不能で開業政治に

「長端」安井知事は 長淵を視察

来興までの佛像歴襲皇を開催する 「家に非角なる人類を関して大鷹町」製造に舞るの形束した高勾麗別別から準高。 歌の形束した高勾麗別別から準高。 歌調堂を発けた上質行に約るらし 歌調堂を発けた上質行に約るらし 歌調堂を発けた上質行に約るらし てゐるが趙伽期自は来る八月中心(祖院力が微観なため市鹹富學は描ことに決定は下これが北僧を述め、)内の三部市(延音、閩門、原井)は「元明されて将作品をして、 **橋投一名遊響館に定款の観史等に** 取出部所で臨時様主婦質を明侃取

を視紙の上午後四時暗城した時半部簡出戦、邑内慢業博習所

地下水を引用 この旱天を利 沙里院の新計畫

解某方に寄宿中 ない は は が は が は が は が は が は が な が れ ば な の を 値 版 こ な の を 値 版 こ な の を 値 版 こ な の を が な が れ ば な の を が な が れ ば な の を が な が れ ば な の を 値 版

手足しびれ、伊原編み明れ、慶、存施、財、財、関、智師、対、 (中) 中の大神高くなる。 (中) 中が大神高くなる。 (中) 中が大神高くな。 (中) 中が大神な。 (中) 中が大神高くな。 (中) 中が大神高くな。 (中) 中が大神な。 (中) 中が大神な。

高普生兵党見學

現まで愛内居住その他各種遊園等の \*\*
主て愛内居住その他各種遊園等の \*\*
これ、黄田教諭に別事されて一十一日歩ん、黄田教諭に別事されて一十一日歩

近角発痛の自動車ボンブの機能を「配性は月末の糞足で、上京出性は「沙里院」平日でさへ出水不足で「胃酸列車で京城越由東京へ向った がく手がつけられない問題であったとは、原理の指針を取りましょの場合に変過せん。のためとみられてある。 がでく手がつけられない問題であっためとみられてある。 がでく手がつけられない問題であっためとみられてある。 が呼ばれば、原理する関係版との打合せ、原理 分態がすることの出来ない沙里、私事旅行といつてゐるが微性人り

方面に行く途中を本夫の複食別なる女兄を伴れ無断家出し参山なる女兄を伴れ無断家出し参山なる女兄を伴れ無断家出し参山

連れ戻された

専門の

心は本格的とな

北鮮三港の活躍

般貨客は羅津を中心に

清雄は木材輸出港

機備を進めてゐる

開城商議役

き左の通り役員を決定、四時開発

観光朝鮮展

性與網氏當選、新會頭碰長器に就

員決定

の仕様似計算を糸井土木管原主位 出を給て直もにこれに驅する一切 日かを教査、沙塩院川の地下水引 州和視察

し工事を完成すべく配徴してゐ一位しなるべく河水孤湖時を利 時自動車で坡州郡初度祝祭のため 【汝山】安井京龍道初事は佐々木

土地經營熱起る

**5.7 近に向ふ途中利原で引戻し続の逃避行としやれ込んでいれ、眼名=は十七日無職家にれる限れ・経済の株主関(14)** 

大阪市立をを松町三一館山尾殿南店が大阪市立をを松町三一館山尾殿南店が大戦時間が大戦時間が大戦時間が大戦時間が大戦時間が大戦時間が大阪市立の大阪市立の大阪市立の大阪市立の大阪市立の大阪市立の大阪市立の大阪市立

野み

ŧ

せらうるが

第一次 では、 ・ できる。 ・ 一番成績の良い

調音 一番明るく 永らちする 一乾電池

朝日電池ラッ

堂

兵庫新明石市東戎町

鄭門專和眼

合く田磯、月末(湖) 同上(湖) 同上(湖) 同上(河道地源理事)

世間へ

とたが内蔵北知事は島山官房主事 / ニー十六日の日曜日と決定、墨[鑑賞]東班意味水取入りと位定(船の「場子座れ遠級デー」はいよ

咽喉を突く

ドラ息子に

叩へ、ヤム落ち若き加減であった

製作はるや土地景源に一層拍談を 面に大成龍産の瞬間的近の土地地 に改置と内定した模様であるとの てゐる、これは産業製的景点と一

を辞つて認めてゐるが大量感覺所一四、五國以上でとんどん取引され、むそうもないのを影響して表る化位面につき歐層派では多大の難む。五十銭で震闘された求果識が配立。の素行恩く鈍感一人前の人間になく識可される響で、同郷資本紙の「もまた著しいもので呼至:闽四、「の職みをかけてゐたか孫立處極、私阿遠县に到る平安庭選響道は近」の「漢と残に認近集部土地の高。」なからも我子感像です。の出他に唯一個阿遠县に到る平安庭選響道は近」の「漢と残に認近集部土地の高。」なからも我子感像です。の出他に唯一の職の本名が知る生活線に迎ばれ

一日午前一時頃酒の元気をかり削

附近する哲

一二日安井知耶

で地事との買取をある成立し五日 四十年上決定、却七十錢乃至二皿 洪武皇の部所の隆山一萬二十五百

一型回の湯定で江陵、三郎、隋 ▲簡光警察部長(咸北道)上城中

って哲倒してゐるのを案人が確し

親子連れ温

珍らしやお米の移入

蓬萊米北海道産を陸揚げ

にまた廿三日入油の日郵海道放び

によって密輸入者の取儀に支索を「かふ行し、下電影響、雑型真水籠」の流れが、り、江戸の曲形盤化。は守翻万英、供殿影館出張所長の「対家軍長」、「かかり」、「中華の大橋」のでは、「中華の流行」、「中華の大橋

醫療」成化水臭草(輸出張)男女酉 | 大陸ぎとなり、氷曳船往別買や自

不慮の災難に遭ん

水流調査に出かけ

洛の直下にある!」ヶ所の井戸水 - パ赤胸のしい処理が並名選生

問部語にアー五個を取取へす立退かしめ、緩除

江原道産業の前途は洋々 金棒の温味

分野が明らかになり北野二世の

「延青」法擬の「部郷殿に伊ひ内」近線の中心力を探行せしめること、「の調演があるなってからもの、都市は貨幣上目」所に現地案を銀行せしめること、「の調演がある」により、東海原町組合理報等は、地野人民間民興は行戦網助機能を実、常局では鉄路市職受け貢献の資源。「富る西で科外には鉄路報長、地野人民間民興は行戦網助機能を実、常局では鉄路市職受け貢献の資源」に含る西で科外には鉄路報告が近荷

たところ、歴史の方々が無つてを 財産に必ず具能化するものと一般 から別得されてので近き では、してみようと性緒されたので近き では、してみようと性緒されたので近き のに必ず具能化するものと一般 のにがする。

山に住宅を制設されたを買 山に住宅を経費されたき質繁製し、以に同氏所有の遊立驚疑剤ロシア

地思惑っ

返返

東西郊外に機敏な手廻る

港都の膨脹新現象

敷地决定す

◆大生活器部長(十九酚鹽)二十一神から帰住

一十一日曜

同の成果から同

顧關係地方の經濟調質を行つ | 昨年十月より本年一月に亘り |

織し番川繁荣曾長山中友太地先民に於ては繊道別成會

喜びの孫知事語る

は二振すべく闘謡中である

土木が協力し、まづ井戸粉虹の四 山道大院師ならで近く野郷、西、

ったので河川敷地管理者たる土

稅關出張所長

このるが一向に去らず、更に困 二ヶ所の非戸とみられ、泉ておけ

があり、これ等の既染系統は胴記

京春鐵道の實現は

職を中心として清重は北鮮の物で 出されてゐたつが編世帝の第一即 出されてゐたつが編世帝の第一即

經濟力薄弱のため

を肌の素質向上を計るため道主

治験では先頃來南した加藤平太郎

施してゐるが今年は小妻不作のた 他のため版年间から小妻実販を解 【身編】都長館では脱泉の祇利禮

街制に落着く模様

を命じたものく立退器なしでは移

あり今回の殉職も職務との責任「正原記無禁が順正存川湾では去るたり、佐道民領路を仁」 総からで一般から権まれてゐるの心に深入住民からも意はれて 歴史を作り、佐道民領路を仁」 懸からで一般から権まれてゐる 個所是となり、佐道民領路で仁

ーバ赤痢菌を邑内に撒きちらす

惠山鎭河川敷地上の

は水 十であらう、即ち起江、関窓・ハーは、1の10 定紙に置き載の変長、状態数の間 短い間 定紙に置き載の変長、状態数の間 現です。

名)先づ問題選続を行ひかとなび 總督を開催、出席十八名(映版)

際が承認で過度改選した際語の初

「開城」二十三日年後、時から所

【威夷】八月十五日から一温明東

内者の計畫 1 體化

場を去る八丁上流のところで国际一先つを出し附し、廿二日世別式院 肥準波解場附近の認定に出かけ年。廿一日午後二時に至り四里下途の ※十のでまる十九日午前九時から 一斉者にも手配して担望の結果がく

入したが翌一多人する、建築米は昨年もの最終。 れのためとみられてゐる。 一般既は未保護と任用米部 米港鎭南浦に反對の奇現象

竹内知事東上

「薩達」ビューロー清澈案内所主

チフス内服豫防藥

で問題
となる

一の除外例に惑はず

安心して服用せよ

て期製して語る勇だから顧問信一般自認の非難はまれがれれなり、用していくと思ふ

令時時間を開催することになった一 が州の五ヶ所で八、九月中に殷地

何州市場の

優良種豚配付

河頂 俗部の戒服令を解かれ

時半から養衆署で第二十節間司会 爵山の簡閱點呼

公蒙者を一づれる緊張し成績良好であつた

開富局と協力し影地令の趣言周

一動に努力を続けてゐるが、小

作事職は却つて激増し、又事職の一體を戦略することとなり本月末機

女心して服用せよ

用していると思ふ

れねであら

使用料を横領 辭表を提出した

個使用料を機関消費したとの疑いてある薬的は過去数年間に亘り市 【廣州】市場の管理部分を収扱つ てある雑誌は過去数年間に重り市 部によるものと見られてもり、 「記しよるものと見られてもり、 「記しよるものと見られてもり、 管理者の身邊危 と折断の敗収 好部合の陸間

れて以來問光道に動では各一たが、同氏に二十二日歸改を提出「昭和九年秋からに随令が一たので同氏を喚問するまでに並つ ろ起近に至り賦予たる話振が思れて署で開軍内査を続けてゐたとこ

十年度の買收費の意気能は四千五一度輸売も必要あった環境でニナセ ・ 国際を指導することとなったが、しての関係上級質反対を述べる場 ・ 銀に伴ふ度景型正のたのニナ七日 ・ 基膜顔を刺繍したが離上、凸臓と ・ はいでは、生気が正のたのにより、日本のでは、一、日臓と

買收費で大揉め

半圏を補助する哲

農地令講習

水原市場のご難續く

總質所が費仕をもつ | ひ夕切闘闘| | 安請せればならぬ理 | ひ夕切闘闘|

整地工事に掛る

感は建設の第

警察は壁の御生師を一片間めるべの如きは約六期の郷増を示し所、

安東商工病頭、立町・柳の剛道師で二十三日午町上時半騰野鳥長、

總ての手續きも完了

損せのやらにと所能住席では監ん

展命とは物にぶをつけ間襲を

早や登記も大部分を終ったので整

女子養蠶教

上級理が長、両寸部的級更と数~ Bとなる、4 「清常」古生点域が砂壁質局長は「蛇※整個音法である類倒処行の結 運部長、河村無務職長を随へ | 果成難が無外にも良好であったの |

初巡視のため二十二日来精、清州

過瞬板はさ

凉(を)、水(め)て)

驛名が氣に食はめ、ウンに お隣同士

つた二つのブールは歌も手を洗ふやうな観察地水のある郊外は家から蒸し出された人々で午前二班まて、「、甲】鰥砂は颱風一造後、また~(百能度の均郷地歌三化し、十二萬程政の歌響所である東、西たて、中二

凉(を)

め

7

マーブールは満員

、選手熱十一名、チブテリア・ラチァス一名、競渉チァス十七名

二十三日報在、府內の際 赤痢が跳梁

婦人の内職

公慰者を一づれも緊張し成績良好であつた

ナフス内服豫防藥 至州で問題となる 二の除外例に惑はす

来師。直に帰境が難の質額者に向

◎ 日本十一頭を購入し谷 『東山』 | 歴南道に関では本作世の

優良種豚

配付

になったが確保一頭平均平十回

三十卿

をはかるこ

阿部內務部長

今度は敷地の 買收費で大揉

額に伊金廉祭史正のため二十七日 器観頭を開催したが職上、邑職 【水原】自は阿市場整地買取貨場|器との交渉が避たものでニー

水原市場のご難續を

農地令講

行ふ 習

異材一帯十 々しくデビ 機せのやらにと前衛生係では盛ん でゐる **清州稅務署** 

初郷線のために土」日東清、清州、に響か、養養片数百三十原片の平、家を謝師に治賦出悪邪部長、弾弓蹠弥鵬長を蹴く、果成雛が急外にも良好であったの。を発部が繰した「清州」古印京城就弥融曹局長は「乾淡喜倒幹法である弾側処行の結」るべく底に認齢 古庄局長に 促進方陳情

- 日竣工の見 に搭札した を独して歌い

で、府内の際 が跳梁 加

つた二つのブールは語も学を洗ふやうな観光似水のある郊外は家から歌し出された人々で午前二年を一句「常心に題旨」並は、また人一言単版の英勢地獄し化し、十二英術氏の遊艇所である策、西た [、中] 熱師は動皇一過後、またく、自僚度の対熱地歌と化し、十二萬府民の避難所である東、 マーブールは満員 

國運隆昌前願祭

各地で嚴肅に執行

告し国家の 開體合同で

を設備に執行した

職権電局と協力し臨地令の暴活的。の第二首監では一ヶ月六千反を座する。 「出級職に努力を配けてあるが、小 る意派、安東方面に公留米鮮の館」会 作事職は知つて微地」、及事職の「翻を受除することとなり本月米綾 を開始する。 「出版社会が大郎力を一蔵一ヶ月の生産能力は「干反、 にあるるが、 「出版社会が大郎力を一蔵一ヶ月の生産能力は「干反、 にあるるが、 「出版社会が大郎力を一蔵一ヶ月の生産能力は「干反、 にあるるが、 「出版社会が大郎力を一蔵一ヶ月の生産能力は「干反、 にあるるが、 「出版社会が大郎力を一蔵一ヶ月六千反を座する」 はある。 **全部時間を開賦することになつた」る計載で大いに呼答されてゐる思州の五ヶ所で八、九月中に農地」の副業を慶北の新興産業たらしめ** は畢竟法令の趣言が殺だ剛知能感占めてゐる概況にあるので、これ 那小作義員の家庭等者地比を講師、當分本塩公司米で行ふが、ゆくゆい作義員の家庭等を通牒した現別州、料は鮮内証明系を使ひ染色だけは関連では製地令に通牒した現別州、料は鮮内証明系を使ひ染色だけは日東貧ほ今の 襲言 カネた関策があった。既 「招聘し清州、永同、柳山、陰城」くはこの染色を道内で行ひ更にこ 清州市場の 使用料を横領か 辭表を提出した 概を慰認すること、なり本月末機 | も來年度には質例を慰認すること、なり本月末機 | 6歳 | 6の類集促趣與の緩い新興酬業として概葉地であ | 長彩に古訳副長の郷い新興酬業として概葉地であ | 長彩に古訳副長の郷い新興酬業として概葉地の 釜山驛長送迎宴 谷や比較的水溜 の修理保存製は他で渡水魚の浴 も略定すし近く 貯水池の複雑 退すべくその弾 での形がある 作りその後は れないが水利の と折衝の敗取り きは附近の天 を選定し 貯水 好都合の陸雨 來則記の天水水 非本観査を行つ

建設の第一歩 に動では各たが、関氏は「十二日離弦を提出」の行権轉後の製送週舎を開催した。 の場所では各たが、同氏は「十二日離弦を提出」の行権轉後の製送週舎を開催した。 に至り臓平たる部様が緩れ、「三山」等由機械配着歯げ出口目 大邱飛行場 で署で厳重内査を置けてゐたとこ (清辨) 市場・管理事物を東接っした、たほその実際を領に行言が てある契約は過去数年間に亘り市 高に上るものと見られて立りは隣 場所用物を解除所置したとの続い が応ぎれてみる 總ての手續きも完了し 管理者の身邊危し

整地工事に掛る

之につき西郷の案で地主も小作

をもつてるま が立腹してる か立腹してる

養蠶粕飼 女子養蠶教

城の模範無路地域で計域的に經濟の模範独野地域の模範無路では今春の被翼洲に陰。を見た)今年政

清州線圏域したが、これを備とし、しその代金二十一国四十銭の数人、顧散在が公路と館に一派の上二十三日午後三時半 均域鑑賞鑑一枚當り城七貫を祝碑」を明配すること

慶全北部線の新驛

・ 1955、 2 年 くも同級中の第名 | つて々求遺験々と決定してみたと (実施) 日下皖工を急いである郎 は照天郎資田面を領域するもので | 「京を実験会は、 1950 日 | 「元来実験会は 1950 日 | 「日本の日本ので | 「「「「「「「「「「「」」」」」 | 「「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「」」 | 「「」」 | 「」」 | 「」 | 「」」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 求禮驛」板ばさ 瞬名が氣に食は ね、ウンに お隣同士江

現ナマ収入の

婦人の内職

**人留米納** 

橋馬

谷越 農藥 學學

博博

士士: 監創

製製

Nature's richest source

of Vitamin B Complex

報

H

夏の病氣の多くは胃腸病に始まります。

を充分强めることが肝要です。 ない人や、 おいても先づ胃腸を丈夫にして、夏の病氣に對する抵抗力 痢、疫痢、チブスなどて蒸失さしる。内に溜つた不消化残渣が酸酵腐敗して腸の加答兒を起します。内に溜つた不消化残渣が酸酵腐敗して腸の加答兒を起します。さなくとも夏は食慾が衰へます。 便通が不整になりがちです、 胃腸の弱い人、夏負け又は疲れ易い人は、何を2多くは胃腸病に始まります。――平素、强健で 赤點

泌させ、 ずに早く體外に排出させる作用があります。 作用により胃腸の組織を丈夫にして、消化液をタップリ分エビオス錠は强力ヴィタミンB複含體と各種酵素との協同 食物を早く榮養化し、 不消化殘渣を腸内に滯らさ

日月場をこわさないやう

興へるやうな夏季の胃腸病は、多くヴィタミ消化不良、疫痢、その他小兒の生命に危険を 毎食後忌れずこの成分の濃厚なエビオス錠を ます。胃腸の丈夫でない兒童には、豫防的に ンB複合體の缺乏によると間はれ、その治療 にはいつも大量のヴイタミンB劑が投興され 樂として飲かさないやう。

り、それが原因で疲勞がひどくなることは周り、それが原因で疲労するだけでは不足しがちとな食物中から攝取するだけでは不足しがちとなヴィタミンB複合體の消費量を激増させます

夏の激しい勢働や、

筋肉、或は粘晶の過労は

力が來る

(J

大病院では必ず変酒酵母をく

後にエビオス錠を飲かせないわけ

激務家等が特に夏の疲劳防止の持難として食 知の事質です。スポーツマン、筋肉勞働者

**発養學上の踏研究により酵母期の良舌** 

らぬことに確定されました。 は酵母剤と言へばいつも麦酒酵母のみ 事質、大學病院を始め全國の大病院で 成分を濃厚に含有して居ると言ふこと中、零酒酵母だけが拔んでくこの貴重 さるべきものであり又、多種ある際は B複合體の多いか奪いかによつて決定 はつきりと判り その中に含まれてをるヴィタミ 一効力の點から

けは麥酒會社の製品を選ばれるやう。類似期には供給されません。酢卵南だますスの原料として消費され、他のエピオスの原料として消費され、他のエピオスの原料として消費され、他の が選定されてをります。

が減らないやら

タミンB複合體の缺乏にあることが明かにな 施は遅れますが、食慾減退の主要原因がヴィ 度が一層激しくなり、延いて體力は衰へ、治す。況して、病床に起跡される方は、その程 の持築としていつも重要がられます。 り、この成分の濃厚なエビオス錠が食慾不進 健康人ですら、夏は食慾が衰へがちのもので

が混入されて居ない純國産での低い難酵母や輸入酵母など で最初から純葉用に製出されして、吾が國最大の麥酒會駐 エビオスは、この作用を利用 た純正の麥酒酵母です。効力

あるのが特長です。

る特殊作用があります。 ・などの複合體は、健选工程・中に自然に酵母細胞に吸落すが

3ンミタィヴ カ强

東京田邊商店あて御請求次第経量します。東京田邊商店あて御請求次第経量します。

東京市日 生じス・アザビ

遊酒職造元

大日本麥酒

株式會社

2 田邊五兵衞商店2 田邊元三郎商店

會社

三〇〇錠……一圓八十錢

液医进 **本機區本町** 

ER SM

話つしみをうちながら、

過労を以で化でも一家の生」
・ 仕事を見つけるとに確念がない

先つ後等を辿の手から破らなくて

既能止于神戸出れの際がなで産品 助手と共に二十四日午前九時京都

鮮満ダイヤ 改正は來年秋

助教技行田新一郎器師、古谷正人

門電力測定のため顔谷直一

鉄線の五ヶ年計劃たる

出地和一土は京都帝大理な部及文 【神戸電話』 夏が帝大理な部長を | 図に向った

はなからうか?いや、それより

はならない、そのためには十分と

矢艦早やな三つの强盗事件を続って

も許さない唯ひとつの疑問

関節に対する認識を高めよう

いよ明明記質問の趣「下により、

々も多大の働心を以て認振をは

たつたかくてこの空间の大事業

朝鮮事情宣傳寫以夢集打合せ

犯罪の巢・孔德町

▲蛭山安東間 不定期延行一件復

資寫眞打合

きのふ各方面の關係者會合

「親川県落まってという」。 おにに止める管である欧正ダイヤーが飛り、一方解線との打 欧正に止める管である欧正ダイヤーが飛り、 一方解線との 日本の機関 一秋に置現する総向で今回は消極的 内前南ダイヤの根本的版正は明年 躍進朝鮮事情宣傳

「月一日から戦闘する際道」作製を急いてあるが、即項の通り

貨物の急行列車も一往復

十二月から新ダイ

(現在の釜山・安児間の第九・ 通させる) 並行貨物列車一往一では選軍加立が廿五間年記念の際

W正し、主として現行ダイヤの中 の新設施に延長列車を基本にして **す月頃から異婚される機様である主列車の奉天直地だけは一足元に** 理談によって緩和する批説である 献金美談 記述する変行客を復行列車の 後山、安東間運輸中の第九、 朝鮮防空殿材費に献金した 八年一月から毎月一圓三ヶ年園は ▲黄神道衆二浦椰山二平氏は昭和 が、廿三日第八四分五圓五十銭を 飲金を行つて来たが、去る二月か

ら第二次計画として家族一人に附

最後、戦雄舰に乗り込んで楽しいキャン。し、一段起戦兢闘主で引き場けて「平北照川側から鎮林近殿舞彫の鑑」数一ヶ月に取って殿北の殿庙を7一 の第二番隊として出戦した京城隊つた、さらに本配のキャンプの館して活動、脱後の本隊の到着を得 後、その一部は更に北部大山屋め 般が世のキャンプ生活指導をした 出た、かくて城大班はさらに一 2日本を名 日出を分の翻題原中 まで通常及網路の一般観光語を所述を敬いて解より要目的に出意し民館で組す 比較の植物型の静脈である竹井城 定地入十名の奠定であつたが、 がしい夕であつた、今度の意味は

講師先着

題るため、廿六日午後六時から京 機に、臨道の趣言を聞き、整接を 質師洋調度の一異彩、八木彩質調

望月君も参加

七日の曜日午前九時より午後六時

竹中、佐々兩

此主派 の本部版として 京城縣から廿三日

城大班及頗科醫専班みごと成功

般本隊は赴戦湖畔

| ブ生活がはじまつた、とれより先 | キャンブ塩素偏のため人夫を質識

これに成典が設及び元山御経を途

の山田部総の猛者ら十敗名は伊藤

リーダーによつて狼が山殿北部一

いよく二十四日午後赴一の處 女地の 踏査登品に 無事成功

その他闘協者ら宮合脈を践行上の 協議を経げた、席上副田文書派長

レーメンに到る、ベルリン入りは 製筋物治五郎氏は、甘三日無導ブ リンに向つた網際オリンピック委

嘉納翁きの

ふ伯林入り

【プレーメン

分けして総派制元中であるが 利用し、愈よ西唐町の副金に乗り 調香要目は その指導方針の確立を切す 各段八名、北古四名が手

共前施設、規禁機翻および大器

中であつたがこの 怪完成、近く

嚴重に自動車の様尾を行ひ、不良 めての就五で、河防には船刺機、 別式を行ふことになった、この ・ 「 への膨胀に進む損害方針を得る」 のと大いに期待されてゐる。一方

西山 Bandana

湖南は光州中學

戦し光中優勝し湖南代数となつは廿四日光州で継行四人勤三の |の決勝光州中學員大田中|

満洲の重力測定

松山博士の一行渡満

沿 大田忠00000000000

一五企題のでしの頃点域西大門交

けふの天氣

貨物運賃統一進む

佐藤營業課長歸任

## L営ることになった を特に甲虫型について 繁態の指 間宮離洲

標知型取の結果廿三日、時内県大を輝ましてたた事を見入門と聞が

本的のダイヤの大敗正を行ひたい すでしこの 以上に関いて 配道省

島水道に侵留中土る二十二日幾束 め海岸に理点された特殊範間宮は 佐世保から急行した 救援作業中

した風迷四十メートルの幽風のた 【佐世保险站】佐世保道志《外等

と座談會 木彩霞畵伯

廿六日府民舘

も内欠歩を進めてゐる

女を躍らせ

福州郡在れ任則不定要成場でよぼ

者にして一千五百圓を詐欺、行方 コンクールが似される 土地を近に利用後家さん一名を役敗ヶ月前機州郡にある他人所有の

日午後一時から、京航の露景顕殿 誤島で短真の會

図永興さん(こ)が暖かけて夕間 語品量建築一小山の石屋で元明い

戲越後屋

女店の歌楽年劇十五歳より大きな一般三時より大時まで来店のお手派記話用で関係り、時まで来店の本町においていません。

ソース本舗

11二日午後八時。11京城三坂通常鹏

納凉中の奇禍

地で、京城新興社主催の夏の葛英 その地ひときで石垣が崩れ、 他で全省一週間の重傷

買費なー

鍾路與太老

興に突進

先づ現状を調査し

特别军贝

女中 二三名美人

求事務所向住宅 家賃五十圓位にして住 宅棄用の事務所ある貸

間内二十四番古市まで 石詳細は改話本局 一一八一番

食事務室 「実験は、以上に関う 「実験は、対したが、対したが、対して、対した。」 「実験は、対したが、対したが、対した。」 「実験は、対したが、対したが、対した。」 「実験は、対した。関う

強補 精 血

如何ナル汚水ヲモ征伏セリ數 年 ノ 經 號 ハ 所

ノ狀態

事 務 電本長3959

過池洗褲中

目動車性能試験場を

尿畿道に

はじめての試み、

近く開所式を行ふ

平南にも設置

**彰、炉川委員、河野理事、後援| 田事業郡長等が加にりまた金渕鮮嶌眞嶽温から山澤理| の京城日報社から高山 意氣に燃えて突進** 

三月毎治解鏡の報告生安丸でベルーおける土壌に新しいものである。一

完全な調査

夢から組織化したものへ、更 二千戸を選 んで遺跡の

敦式野球 ¥

京治 0000-00

| 「明報は二千八百七十代、この内」いる文字辿りの交換地域である | た機制要を出来るだけ切くする。 | 副實によれば、昭和十年度の自動。のを歌に上り、事故物象は五倍と | してゐる、そこと解除局では驚いにに努めてゐるが、懸強局。ると元亡帝の罕は或く勿れ続き悟。武弘と、地統の不完全などを例

な順制要を出来るだけ少くする目してゐる。そこで修務局では無疑

防止の徹底

七名で、これを四軸のそれに比べ「蓮道部が不足いのと、運輸中の不「月から京城師師同京城職業度校内死者」百十九名、蝦灣子九百二十一 主なる 原因 は歌劇の交 修から、丁ピー萬五千垣で云る四班者」百十九名、

たまる鑑れようとしなかった。

ろしい陰いを吹きこまれて、取時には歩い道手や黒い耀手に恐

一種目からつくられた郷壁部沿の温

川県の巧妙な眩扈には手の下した 突が個利金がついて問費されてゐ

府灣第0200100

寫頁八機能體

**林 工 業** 京城府本町一旭ビル

施工鮮

工三十二ヶ所工業會社、獨山會社

只会製作中ノ分 浦 項 邑 上 水 最近完成人分 御一報次第設計書型餘進呈 朝鮮大豆化學株式會社殿 道 殿



停止政策の日迄在式の名談四八月一日より第三十三四に時

京日案內



少と位を握る作戦もあるが、此の「塚田君の一四歩の受けは、三五

れは下手万として営器の手で

フォード特約販賣店 本 店 京城府岩草町大通 大 商 全洲府本町一丁目

平南自動車商會

平獎府資町五

清津府雅生町六

ウ

商

是非フオート レー& トラックをほ選び下さい

釜山府祭町一ノ四一

朝鮮鐵道株式會社自動車販賣所 鏡モーター高會

**威奥府朝日町**ー三六

まは、そのお方が御室に召さない一程後飾されて來る。もら此の此隱

否々、それにも増して際に落ち兼 を以子近を探すに如くはない

處を出て、自分の手で父親の借金

9な軍機で膨めてゐた。米だ郷い0菱側を災しい珠を掴いてゐるや

てれから後の自分は、愛子に對す 目身ではなかつたか? 目分に、五年後を制したのは除太 る云へば弾々しく世間へ出て来た

二流争弱血

(3)

ところで一寸考へてから、二六歩らくと並んだが、敵の四四歩の観りは密音の常道をたどつてす

を達のは運轉者と 3ものは運轉者に メバール とに過ぎません

トラツクは利益を得る篇の投資物として

トラツクの眞價を證據立てる眞の試驗ご

に最少限度の運賃で運搬するその輸送能

に於て凡ゆる他のトラックを全部合した

より以上販賣されてゐる事實に照しても

明白であります

<u> おるをあために去るには</u>

てあつたので

間の鉄時計組に入つて、何方か

学の心を配しては可けないと云

系族地に交って京城群に見送りに 一成人して来た。朗れた時は、も

肌を埋めて始終自分に向か

○三三百十二六步

金 易]郎

併し台がら

一月で十八といふ年の暮れで

四時別五

步

調は一六歩迄の局面 香落番光图段▽市

の深持が入り風れて来た。只問一 しての立盟から當然故さるべき

〇時三〇分(東) 母の時間

鈴太は無遺作に云つて、周一郎の 田來事で……』と云ひながらパイ って、質にどうも、あまり意外な お父さんが雅んだことになったさ 『今朝銀行へ来て知つたのだが、 君は、あの事性のあつた時は何 を灰皿の上に置くと、

「うむ。矢張りさらだつたのか

人間として自分の取った手腔が背 同七時 今日の天滅紀込 人間として自分の取った手腔が背 同七時一分(p)朝の修養即身成一時に過ぎはしなかつたかと、「『一世』(中) ・ 「日本時一分(p) 朝の修養即身成 同六時三〇分(小) 建成碳铅谱

午前六時 ラデオ情報 廿五日番組 (土曜日) 一放送

ニュース・天知見込・職

子供と家庭のタ

武田郡夫作詞

同六時二〇分(東)コドモの新聞銀販作曲 ダン 道子 稻の虫と防ぎ方 ■廿六日午前六時半から= 作 こ ダン 道子 作 過と防き方 中山島之介 一 同九時三〇分(泉) うたのおけい ダン 道子 中山

稻の蟲に對しても同様で獣の大きい浮磨子、二化無虫など の最に對する知識を元分持たぬためと思ばれる。交防除す の時も大抵被害が進んでから騒ぎ立てるのは、つまり之等 多くの農家は作物の害蟲が相當出た頃にその驅除を叫ぶや るにしてもその知識を充分持たぬためと思はれる。文防除 うでありますが、既に防除の適期は失してゐるのである。 昌之 分には略は暗譜で吹奏出來る故知 つて今日の樂讃吹奏よりも結果は ぎ日時を襲したが其の曲の了る時

音の尺八の秘古は一曲を引るに長 ○尺八吹奏は暗耐法に依るべし、 曲 谷

國大阪商船製出帆

北部商船組入香店

甲 | 匯水 石(急行)毎日 腐八時四日 | 朝鮮八船出帆 廣告

九嘝郵船株式會社

代理店 

のんで

勝ちつづけ

夜朝 八十 時時

と、すれば旅で4要子に遊ひない らか、そんな事を信じていゝもの ┃甘へてはならぬ人に縋りかゝらう 東窓出来てみると云ふ。本當だら それに何ぞや、 は相愛の男があって、結婚の約 一今の客は、選手 

の間にか貯太に甘へからつてゐる の情の温か味を描いては外にない

立ち上らうとして耐子の背に手を

機子だつたが、

「うならと貯太は野く等」てある

一間一郎は、きつばりしたロ

即通を受けました二萬國の利息の 就きましては、亡父の銀行から

B - ○時 ニュース・気象通報・ 地方へのニュース(照解語・参 山)

同一時四〇分 空營 景清

「あの事はーーと、他にも未だ君

援間には用はなか、た。

と肚が決つてみれば、

もら此の贈

ものが確にあった。

そして、自分の軍様の中にも何時

|ものに行き當つたやうな郷がした | 艶々した嵌い顔、マドロスパイプ

としてゐた――周一郎は恐ろしい

入って来たのは能太その人だった

今はもら人手に復つた瞬山の善後 | を咥へた窓町船みの歩るき振りは

「以前と少しも鯉る塵なかつたが戦

とは打つて競った憤りの色があり

太を迎へた周一郎の瞳には、

について、自分に何か云ひたいの

、九月十三日夜陣中作 、開陽後一日 | 背原道真。作 時時 | 佐冬木季吾 | 詩時 | 佐冬木季吾 |

主 柳家小河八時五五分(東)落路 百

る、最大夫の太夫になると日本日

◆糸竹の合器には演奏者互の類別 本時には一本等といふ思い調子を

を合せることが設も大切であるが

田

定鮮 期級

ら一夜週ではなられ、十分往恩が これはなかくくむつかしい事だか ◇頑蹇雷に於ける三曲合奏には里

とか三、四といふ風に改良したい

が絲の場合、尺八は一尺九寸言文

は二尺音を使用されたいものであ

他の話とは大方愛子を他家に遺る

供のテキスト七月鯱特選重略

さうだ。臓に難いた。

111

本紙一萬號記念縣賞小說二等當選

**装無断上演映** 

鹿島夷秋作詞

同八時四〇(東)今日(

武内俊子作

Ē

を中止するやうた不都合は来さな

小崎一政房

此の配一勝その賦化をその見子に

だ妙な感じである。これを一、一 オイ、ヤ、ハ、ホ、などで、今之 ◆華三統の景響はイヤ叉はヨイ、 を普通の言語から考へて見ると語